

注3

大学番号：069

[平成28年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

事前伺い

香川大学大学院医学系研究科 医学専攻（博士課程）

注2

## 【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 香川大学  
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 医学部総務課

職名・氏名 課長補佐・中屋敷 <sup>ナカヤシキ タカヒロ</sup> 隆博

電話番号 087-891-2007

（夜間） 087-891-2007

F A X 087-891-2016

e-mail syokacho@med.kagawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について

(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

香川大学大学院医学系研究科

<医学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	20
6. 附帯事項等に対する履行状況等	34
7. その他全般的事項	35

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 香川大学

## (2) 大学名

香川大学大学院

## (3) 調査対象大学等の位置

〒761-0793  
香川県木田郡三木町大字池戸1750番地1  
(〒760-8521  
香川県高松市幸町1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ナガオ セイゴ) 長尾 省吾 (平成23年10月)	(カケヒ ヨシユキ) 笥 善行 (平成29年10月)	任期満了に伴い 平成29年10月1日交代 (30)
理事	(フジイ ヒロシ) 藤井 宏史 (平成25年10月)	イマイダ カツミ (ヤマシタ トシアキ) 今井田 克己 山下 明昭 平成31年 4月 (平成29年10月)	任期満了に伴い 平成29年10月1日交代 (30) 辞任に伴い 平成31年 4月1日交代 (元)
研究科長	(イマイダ カツミ) 今井田 克己 (平成26年 4月)	(ウエダ ナツオ) 上田 夏生 (平成29年10月)	任期満了に伴い 平成29年10月1日交代 (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医学系研究科 医学専攻 （博士課程）  博士（医学）	医学関係	4 年	30 人	0 年次 人	120 人	基礎となる学部等  医学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	30人 ( - ) [ - ]	- 人	30人 ( - ) [ - ]	- 人	30人 ( - ) [ - ]	- 人	30人 ( - ) [ - ]	- 人	1.12倍	一倍	
志願者数	36 ( - ) [ 5 ]	- ( - ) [ - ]	23 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	35 ( - ) [ 3 ]	- ( - ) [ - ]	42 ( - ) [ 4 ]	- ( - ) [ - ]			
受験者数	36 ( - ) [ 5 ]	- ( - ) [ - ]	23 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	35 ( - ) [ 3 ]	- ( - ) [ - ]	42 ( - ) [ 4 ]	- ( - ) [ - ]			
合格者数	36 ( - ) [ 5 ]	- ( - ) [ - ]	23 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	35 ( - ) [ 3 ]	- ( - ) [ - ]	42 ( - ) [ 4 ]	- ( - ) [ - ]			
B 入学者数	36 ( - ) [ 5 ]	- ( - ) [ - ]	23 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	35 ( - ) [ 3 ]	- ( - ) [ - ]	41 ( - ) [ 4 ]	- ( - ) [ - ]			
入学定員超過率 B/A	1.20		0.76		1.16		1.36				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	36 [ 5 ] (-)	- [ - ] (-)	23 [ 1 ] (-)	- [ - ] (-)	35 [ 3 ] (-)	- [ - ] (-)	41 [ 4 ] (-)	- [ - ] (-)	
2年次	/		36 [ 5 ] (-)	- [ - ] (-)	23 [ 1 ] (-)	- [ - ] (-)	35 [ 3 ] (-)	- [ - ] (-)	
3年次			/		/		36 [ 5 ] (-)	- [ - ] (-)	23 [ 1 ] (-)
4年次	/						/		/
計			36 [ 5 ] ( - )	59 [ 6 ] ( - )	94 [ 9 ] ( - )	135 [ 13 ] ( - )			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成28年度	36人	0人	平成28年度	0人	0人	
平成29年度	59人	0人	平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	94人	0人	平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	135人	0人	平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計	324人	0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
                  ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{36} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{59} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{94} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{135} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<大学院医学系研究科 医学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	医科学概論	1前	2			11	3					
	医科学特論	1前	2			17	9					
	希少糖科学特論	1後	1			2	1					
	研究・生命倫理	1前	1			2						
	小計(4科目)	-	6			22	10					
専門科目	希少糖の機能	1・2通	4			1	1					
	発達神経科学	1・2通	4			2						
	分子形態学特論	1・2通	2			1	1					
	組織細胞科学特論	1・2通	4			1	1					
	神経細胞生物学特論	1・2通	4			1	1					
	神経生理学	1・2通	4			1	1					
	呼吸循環生理学	1・2通	4			1	1					
	循環生理シグナル伝達学	1・2通	4			1	1					
	薬理学特論	1・2通	4			1	1					
	脂質生物学	1・2通	4			1	1					
	酵素学実験法	1・2通	4			1	1					
	医用有機化学特論	1通	4			1						
	医用分析化学特論	2通	4			1						
	分子内分泌学	1・2通	4			1	1					
	核医学画像解析	1・2通	2				1					
	毒性病理学	1・2通	2			1	1					
	分子神経病理学	1・2通	4			2		1				
	免疫組織化学	1・2通	4			1		1				
	免疫制御学	1・2通	4			1						
	寄生虫学特論	1・2通	2				1					
	衛生動物学特論	1・2通	2				1					
	微生物ゲノム科学	1・2通	2			1						
	生活習慣病予防論	1・2通	2				1					
	臨床疫学	1前	1			1		1				
	生物統計学	1前	1			1		1				
	医療管理学	1後	1			1		1				
	健康危機管理論	2前	1			1		1				
	国際保健論	2後	1			1		1				
	法医学特論	1・2通	2			1						
	医学教育学特論	1・2通	2			1	1					
	遺伝情報解析学	1・2通	4			1	1					
	疾患ゲノム情報学	1・2通	4			1	1					
生体分子立体構造学	1・2通	2			1	1						
実験動物学・動物遺伝学	1・2通	2				1						
糖鎖構造解析	1・2通	2				1						
希少糖と生活習慣病	1・2通	2			1	1						
バイオイメージング技術の開発・応用	1通	2			1	1						
中耳・内耳バイオイメージング	2通	2			1	1						
形成外科におけるバイオイメージング	1・2通	2			1	1						

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	医科学概論	1前	2			11	2					
	医科学特論	1前	2			17	8					
	希少糖科学特論	1後	1			2	1					
	研究・生命倫理	1前	1			2						
	小計(4科目)	-	6			22	9					
専門科目	希少糖の機能	1・2通	4			2	0					
	発達神経科学	1・2通	4			2						
	分子形態学特論	1・2通	2			1	1	1				
	組織細胞科学特論	1・2通	4			1	1	1				
	神経細胞生物学特論	1・2通	4			1	1					
	神経生理学	1・2通	4			2	0					
	生体分子センサー特論	1・2通	4			1						
	呼吸循環生理学	1・2通	4			1	2					
	循環生理シグナル伝達学	1・2通	4			1	2					
	薬理学特論	1・2通	4			1	1					
	脂質生物学	1・2通	4			1	1					
	酵素学実験法	1・2通	4			1	1					
	医用有機化学特論	1通	4			1						
	医用分析化学特論	2通	4			1						
	分子内分泌学	1・2通	4			1	1					
	核医学画像解析	1・2通	2				1					
	毒性病理学	1・2通	2			1	1					
	分子神経病理学	1・2通	4			2	1	1				
	免疫組織化学	1・2通	4			1		1				
	免疫制御学	1・2通	4			1						
	寄生虫学特論	1・2通	2				1					
	衛生動物学特論	1・2通	2				1					
	微生物ゲノム科学	1・2通	2			1						
	生活習慣病予防論	1・2通	2				1					
	臨床疫学	1前	1			1	1	0				
	生物統計学	1前	1			1	1	0				
	医療管理学	1後	1			1	1	0				
	健康危機管理論	2前	1			1	1	0				
	国際保健論	2後	1			1	1	0				
	法医学特論	1・2通	2			1						
	医学教育学特論	1・2通	2			1	1					
	遺伝情報解析学	1・2通	4			1	1					
疾患ゲノム情報学	1・2通	4			1	1						
生体分子立体構造学	1・2通	2			1	1						
実験動物学・動物遺伝学	1・2通	2				1						
糖鎖構造解析	1・2通	2				1						
希少糖と生活習慣病	1・2通	2			2	0						
バイオイメージング技術の開発・応用	1通	2			1	1	1					
中耳・内耳バイオイメージング	2通	2			1	1						
形成外科におけるバイオイメージング	1・2通	2			1	1						



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	消化器病学	1・2通	2		2	1					
	循環器病学	1・2通	2		2	2					
	母子周産期医学	1・2通	2		1	1					
	皮膚病学	1・2通	2		1						
	眼病学	1・2通	2		1	1					
	口腔病学	1・2通	2		1	1					
	頭頸部病学	1通	2		1	1					
	耳鼻咽喉疾患学	2通	2		1	1					
	放射線医学	1・2通	2		1	1					
	痛み学	1通	2		1						
	呼吸循環制御学	2通	2		1						
	小児科学	1・2通	2		1	1					
	内分泌代謝学	1通	2		1	1					
	糖尿病学	2通	2		1	1					
	救急救命医学	1・2通	2		1						
	形態機能学	1・2通	2		1	1					
	薬学	1・2通	2		1						
	研究方法論応用	1前	4								
	・がん疫学論					3					
	・臨床研究論					2					
・医療統計学					1						
悪性腫瘍の管理と治療	1後										
・検査、診断法概論					1	2	1				
・治療法概論					5	1	1				
・治療合併症、支持療法、緩和治療					1	1	3			1	
・老年腫瘍学					1						
・がんの心理社会的側面						1	1				
医療倫理学・医療経済学	1・2通				4						
医療対話学	1・2通				2	1	1			1	
がんチーム医療実習	1・2通										
医療情報学(腫瘍学における情報システム)	1・2通				2		1			0	
がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学	2通	4		3		1					
臨床検査、病理、放射線診断学	2通			1	2	1					
臓器別がん治療各論	2通			7	8	3					
放射線治療法	2通	1		1							
がん緩和治療	2通			3	4	3				1	
臨床腫瘍学	2・3通	2		1							
放射線腫瘍学	2・3通	2		1							
課題研究	3・4通	8		-							
小計(119科目)	-	8	277		22	25	3				
合計(123科目)	-	14	277		44	35	3				
卒業要件及び履修方法											
修了要件 ・本研究科に4年以上在籍し、所定の30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間については、優れた研究業績を上げた者は、当該課程に3年以上在学すれば足りるものとする。											
履修方法 ・共通科目6単位、専門科目16単位以上、課題研究8単位の計30単位以上とする。専門科目は16単位以上のうち、主科目から8単位(主指導教員の開講する科目を1科目以上含む)、副科目(主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えて履修可)から4単位、主科目・副科目に関わらず全ての開講科目から4単位以上を履修する。											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	消化器病学	1・2通	2		2	1					
	循環器病学	1・2通	2		2	2					
	母子周産期医学	1・2通	2		1	1					
	皮膚病学	1・2通	2		1						
	眼病学	1・2通	2		1	1					
	口腔病学	1・2通	2		1	1					
	頭頸部病学	1通	2		1	1					
	耳鼻咽喉疾患学	2通	2		1	1					
	放射線医学	1・2通	2		1	1					
	痛み学	1通	2		1						
	呼吸循環制御学	2通	2		1						
	小児科学	1・2通	2		1	1					
	内分泌代謝学	1通	2		1	1					
	糖尿病学	2通	2		1	1					
	救急救命医学	1・2通	2		1						
	形態機能学	1・2通	2		1	1					
	薬学	1・2通	2		1						
	小児外科学	1・2通	4		1						
	研究方法論応用	1前	4								
	・がん疫学論					3					
・臨床研究論					2						
・医療統計学					1						
悪性腫瘍の管理と治療	1後										
・検査、診断法概論					1	2	1				
・治療法概論					5	1	1				
・治療合併症、支持療法、緩和治療					1	1	2			1	
・老年腫瘍学					1						
・がんの心理社会的側面							1	1			
医療倫理学・医療経済学	1・2通				4						
医療対話学	1・2通				2	1	0			1	
がんチーム医療実習	1・2通										
医療情報学(腫瘍学における情報システム)	1・2通				2	1	0				
がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学	2通	4		3		1					
臨床検査、病理、放射線診断学	2通			1	2	1					
臓器別がん治療各論	2通			7	8	3					
放射線治療法	2通	1		1							
がん緩和治療	2通			3	4	3				1	
放射線治療法	2通	1		1							
臨床腫瘍学	2・3通	2		1							
放射線腫瘍学	2・3通	2		1							
課題研究	3・4通	8		-							
小計(122科目)	-	8	289		22	24	8				
合計(126科目)	-	14	289		44	33	8			1	
卒業要件及び履修方法											
修了要件 ・本研究科に4年以上在籍し、所定の30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間については、優れた研究業績を上げた者は、当該課程に3年以上在学すれば足りるものとする。											
履修方法 ・共通科目6単位、専門科目16単位以上、課題研究8単位の計30単位以上とする。専門科目は16単位以上のうち、主科目から8単位(主指導教員の開講する科目を1科目以上含む)、副科目(主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えて履修可)から4単位、主科目・副科目に関わらず全ての開講科目から4単位以上を履修する。 ※がんプロフェッショナル養成コース選択者は、がんプロフェッショナル養成科目群の共通コアカリキュラム及びがん専門共通科目は必修とする。											

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	医科学概論	1前	2			11	3					
	医科学特論	1前	2			17	9					
	希少糖科学特論	1後	1			2	1					
	研究・生命倫理	1前	1			2						
	小計(4科目)	-	6			22	10					
専門科目	希少糖の機能	1・2通	4			1	1					
	発達神経科学	1・2通	4			2						
	分子形態学特論	1・2通	2			1	1					
	組織細胞科学特論	1・2通	4			1	1					
	神経細胞生物学特論	1・2通	4			1	1					
	神経生理学	1・2通	4			1	1					
	呼吸循環生理学	1・2通	4			1	1					
	循環生理シグナル伝達学	1・2通	4			1	1					
	薬理学特論	1・2通	4			1	1					
	脂質生物学	1・2通	4			1	1					
	酵素学実験法	1・2通	4			1	1					
	医用有機化学特論	1通	4			1						
	医用分析化学特論	2通	4			1						
	分子内分泌学	1・2通	4			1	1					
	核医学画像解析	1・2通	2				1					
	毒性病理学	1・2通	2			1	1					
	分子神経病理学	1・2通	4			2		1				
	免疫組織化学	1・2通	4			1		1				
	免疫制御学	1・2通	4			1						
	寄生虫学特論	1・2通	2				1					
	衛生動物学特論	1・2通	2				1					
	微生物ゲノム科学	1・2通	2			1						
	生活習慣病予防論	1・2通	2				1					
	臨床疫学	1前	1			1		1				
	生物統計学	1前	1			1		1				
	医療管理学	1後	1			1		1				
	健康危機管理論	2前	1			1		1				
	国際保健論	2後	1			1		1				
	法医学特論	1・2通	2			1						
	医学教育学特論	1・2通	2			1	1					
	遺伝情報解析学	1・2通	4			1	1					
	疾患ゲノム情報学	1・2通	4			1	1					
生体分子立体構造学	1・2通	2			1	1						
実験動物学・動物遺伝学	1・2通	2				1						
糖鎖構造解析	1・2通	2				1						
希少糖と生活習慣病	1・2通	2			1	1						
バイオイメージング技術の開発・応用	1通	2			1	1						
中耳・内耳バイオイメージング	2通	2			1	1						
形成外科におけるバイオイメージング	1・2通	2			1	1						
細胞シグナル伝達学に基づくトランスレショナルリサーチ	1・2通	4			1	1						
生活習慣病診断・治療の前臨床開発	1・2通	4			1	1						
iPS細胞の応用	1・2通	2			1	1						
糖鎖情報と臨床応用	1・2通	4			1	1						

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	医科学概論	1前	2			11	3					
	医科学特論	1前	2			17	9					
	希少糖科学特論	1後	1			2	1					
	研究・生命倫理	1前	1			2						
	小計(4科目)	-	6			22	10					
専門科目	希少糖の機能	1・2通	4			1	1					
	発達神経科学	1・2通	4			2						
	分子形態学特論	1・2通	2			1	1					
	組織細胞科学特論	1・2通	4			1	1					
	神経細胞生物学特論	1・2通	4			1	1					
	神経生理学	1・2通	4			1	1					
	呼吸循環生理学	1・2通	4			1	1					
	循環生理シグナル伝達学	1・2通	4			1	1					
	薬理学特論	1・2通	4			1	1					
	脂質生物学	1・2通	4			1	1					
	酵素学実験法	1・2通	4			1	1					
	医用有機化学特論	1通	4			1						
	医用分析化学特論	2通	4			1						
	分子内分泌学	1・2通	4			1	1					
	核医学画像解析	1・2通	2				1					
	毒性病理学	1・2通	2			1	1					
	分子神経病理学	1・2通	4			2		1				
	免疫組織化学	1・2通	4			1		1				
	免疫制御学	1・2通	4			1						
	寄生虫学特論	1・2通	2				1					
	衛生動物学特論	1・2通	2				1					
	微生物ゲノム科学	1・2通	2			1						
	生活習慣病予防論	1・2通	2				1					
	臨床疫学	1前	1			1		1				
	生物統計学	1前	1			1		1				
	医療管理学	1後	1			1		1				
	健康危機管理論	2前	1			1		1				
	国際保健論	2後	1			1		1				
	法医学特論	1・2通	2			1						
	医学教育学特論	1・2通	2			1	1					
	遺伝情報解析学	1・2通	4			1	1					
	疾患ゲノム情報学	1・2通	4			1	1					
生体分子立体構造学	1・2通	2			1	1						
実験動物学・動物遺伝学	1・2通	2				1						
糖鎖構造解析	1・2通	2				1						
希少糖と生活習慣病	1・2通	2			1	1						
バイオイメージング技術の開発・応用	1通	2			1	1						
中耳・内耳バイオイメージング	2通	2			1	1						
形成外科におけるバイオイメージング	1・2通	2			1	1						
細胞シグナル伝達学に基づくトランスレショナルリサーチ	1・2通	4			1	1						
生活習慣病診断・治療の前臨床開発	1・2通	4			1	1						
iPS細胞の応用	1・2通	2			1	1						
糖鎖情報と臨床応用	1・2通	4			1	1						

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門科目	発がん機構	1・2通	2			1	1					
	免疫機能を調整する薬剤の開発	1・2通	4			1						
	微生物共生システムと応用	1・2通	2			1						
	健康測定・アセスメント	1・2通	2				1					
	医療経済・テクノロジーアセスメント	1前	1			1		1				
	医療政策論	1後	1			1		1				
	死因究明技術の開発	1・2通	2			1						
	タンパク質分子設計	1・2通	2			1	1					
	精神神経疾患の創薬科学	1・2通	4			1	1					
	臨床アウトカムとしてのQOL評価の応用	1前	1			1						
	臨床アウトカムとしての画像解析システム	1後	1			1						
	睡眠(終夜脳液システム)の臨床開発	1・2通	4			1	1	1				
	認知症診断の技術研究	1・2通	4			1	1	1				
	脂質異常症と心血管病	1・2通	4			1	1					
	食塩感受性高血圧モデルの臨床応用	1・2通	2			1	1					
	周産期の脳発達と子供の健康	1通	4			2						
	高速液体クロマトグラフィーの臨床応用	2通	2			1	1					
	近赤外線分光法を用いた臨床研究	2通	2			1	1					
	骨軟部腫瘍研究の臨床応用	1・2通	4			1	1					
	前立腺がんの新規マーカーの開発	1通	2			1						
低侵襲手術式の開発	2通	2			1							
癌とマイクロRNA	1通	2			1	1						
癌と遺伝子異常	2通	2			1	1						
分子イメージングの臨床応用	1・2通	4			1	1						
動脈硬化症への遺伝子治療	1・2通	4			1	1						
病理診断学の臨床応用	1・2通	4				1						
神経保護薬の臨床開発	1・2通	4			1	1						
医工融合による医療機器開発	1・2通	1			1	1						
救急・生体侵襲制御	1・2通	2			1							
希少腫瘍学	1前	1			1							
地域医療学	1後	1			1	0						
高齢者医療学	1前	1				1						
医療倫理	1前	1			2							
生活習慣病学	1後	1			1							
災害医療・災害医学	1後	1			1							
神経病学	1・2通	2			1	2						
脳神経外科学	1・2通	2			1	1						
運動器病学	1・2通	2			1	1						
精神病学	1・2通	4			1	1						
腎・泌尿器病学	1・2通	4			2	1						
感染症学	1・2通	2			1							
血液病学(血液・造血器・リンパ)	1・2通	2			2							
免疫・アレルギー疾患学	1・2通	2			1							
呼吸器病学	1・2通	4			2		1					
乳腺内分泌外科学	1・2通	2				1						
消化器病学	1・2通	2			2	1						
循環器病学	1・2通	2			2	2						
母子周産期医学	1・2通	2			1	1						

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門科目	発がん機構	1・2通	2			1	1					
	免疫機能を調整する薬剤の開発	1・2通	4			1						
	微生物共生システムと応用	1・2通	2			1						
	健康測定・アセスメント	1・2通	2				1					
	医療経済・テクノロジーアセスメント	1前	1			1		1				
	医療政策論	1後	1			1		1				
	死因究明技術の開発	1・2通	2			1						
	タンパク質分子設計	1・2通	2			1	1					
	精神神経疾患の創薬科学	1・2通	4			1	1					
	臨床アウトカムとしてのQOL評価の応用	1前	1			1						
	臨床アウトカムとしての画像解析システム	1後	1			1						
	睡眠(終夜脳液システム)の臨床開発	1・2通	4			1	1	1				
	認知症診断の技術研究	1・2通	4			1	1	1				
	脂質異常症と心血管病	1・2通	4			1	1					
	食塩感受性高血圧モデルの臨床応用	1・2通	2			1	1					
	周産期の脳発達と子供の健康	1通	4			2						
	高速液体クロマトグラフィーの臨床応用	2通	2			1	1					
	近赤外線分光法を用いた臨床研究	2通	2			1	1					
	骨軟部腫瘍研究の臨床応用	1・2通	4			1	1					
	前立腺がんの新規マーカーの開発	1通	2			1						
低侵襲手術式の開発	2通	2			1							
癌とマイクロRNA	1通	2			1	1						
癌と遺伝子異常	2通	2			1	1						
分子イメージングの臨床応用	1・2通	4			1	1						
動脈硬化症への遺伝子治療	1・2通	4			1	1						
病理診断学の臨床応用	1・2通	4				1						
神経保護薬の臨床開発	1・2通	4				0	1					
医工融合による医療機器開発	1・2通	1			1	1						
救急・生体侵襲制御	1・2通	2			1							
臨床栄養・微生物学	1・2通	4				1						
希少腫瘍学	1前	1			1							
地域医療学	1後	1			1	0						
高齢者医療学	1前	1				1						
医療倫理	1前	1			2							
生活習慣病学	1後	1			1							
災害医療・災害医学	1後	1			1							
神経病学	1・2通	2			1	2						
脳神経外科学	1・2通	2			1	1						
運動器病学	1・2通	2			1	1						
精神病学	1・2通	4			1	1						
腎・泌尿器病学	1・2通	4			2	1						
感染症学	1・2通	2			1							
血液病学(血液・造血器・リンパ)	1・2通	2			2							
免疫・アレルギー疾患学	1・2通	2			1							
呼吸器病学	1・2通	4			2		1					
乳腺内分泌外科学	1・2通	2				1						
消化器病学	1・2通	2			2	1						
循環器病学	1・2通	2			2	2						
母子周産期医学	1・2通	2			1	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	皮膚病学	1・2通	2		1						
	眼病学	1・2通	2		1	1					
	口腔病学	1・2通	2		1	1					
	頭頸部病学	1通	2		1	1					
	耳鼻咽喉疾患学	2通	2		1	1					
	放射線医学	1・2通	2		1	1					
	痛み学	1通	2		1						
	呼吸循環制御学	2通	2		1						
	小児科学	1・2通	2		1	1					
	内分泌代謝学	1通	2		1	1					
	糖尿病学	2通	2		1	1					
	救急救命医学	1・2通	2		1						
	形態機能学	1・2通	2		1	1					
	美学	1・2通	2		1						
	研究方法論応用	1前	4								
	・がん疫学論					3					
	・臨床研究論					2					
	・医療統計学					1					
	悪性腫瘍の管理と治療	1後									
	・検査、診断法概論					1	2	1			
・治療法概論					5	1	1				
・治療合併症、支持療法、緩和治療					1	1	3				
・老年腫瘍学					1						
・がんの心理社会的側面						1	1				
医療倫理学・医療経済学	1・2通				4						
医療対話学	1・2通				2	1	1				
がんチーム医療実習	1・2通										
医療情報学(腫瘍学における情報システム)	1・2通				2		1				
がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学	2通	4		3		1					
臨床検査、病理、放射線診断学	2通			1	2	1					
臓器別がん治療各論	2通			7	8	3					
放射線治療法	2通	1		1							
がん緩和治療	2通			3	4	3					
臨床腫瘍学	2・3通	2		1							
放射線腫瘍学	2・3通	2		1							
課題研究	3・4通	8		-							
小計(119科目)	-	8	277		22	25	3				
合計(123科目)	-	14	277		44	35	3				
卒業要件及び履修方法											
<p>修了要件</p> <p>・本研究科に4年以上在籍し、所定の30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間については、優れた研究業績を上げた者は、当該課程に3年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>履修方法</p> <p>・共通科目6単位、専門科目16単位以上、課題研究8単位の計30単位以上とする。専門科目は16単位以上のうち、主科目から8単位(主指導教員の開講する科目を1科目以上含む。ただし、がんプロフェッショナル養成コースは除く。)、副科目(主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えてよい。)から4単位、主科目・副科目に関わらず全ての開講科目から4単位以上を履修する。 ※がんプロフェッショナル養成コース選択者は、がんプロフェッショナル養成科目群の共通コアカリキュラム及びがん専門共通科目は必修とする。</p>											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	皮膚病学	1・2通	2		1						
	眼病学	1・2通	2		0	1					
	口腔病学	1・2通	2		1	1					
	頭頸部病学	1通	2		1	1					
	耳鼻咽喉疾患学	2通	2		1	1					
	放射線医学	1・2通	2		1	1					
	痛み学	1通	2		1						
	呼吸循環制御学	2通	2		1						
	小児科学	1・2通	2		1	1					
	内分泌代謝学	1通	2		1	1					
	糖尿病学	2通	2		1	1					
	救急救命医学	1・2通	2		1						
	形態機能学	1・2通	2		1	1					
	美学	1・2通	2		1						
	小児外科学	1・2通	4		1						
	研究方法論応用	1前	4								
	・がん疫学論					3					
	・臨床研究論					2					
	・医療統計学					1					
	悪性腫瘍の管理と治療	1後									
・検査、診断法概論					1	2	1				
・治療法概論					5	1	1				
・治療合併症、支持療法、緩和治療					1	1	3				
・老年腫瘍学					1						
・がんの心理社会的側面						1	1				
医療倫理学・医療経済学	1・2通				4						
医療対話学	1・2通				2	1	1				
がんチーム医療実習	1・2通										
医療情報学(腫瘍学における情報システム)	1・2通				2		1				
がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学	2通	4		3		1					
臨床検査、病理、放射線診断学	2通			1	2	1					
臓器別がん治療各論	2通			7	8	3					
放射線治療法	2通	1		1							
がん緩和治療	2通			3	4	3					
放射線治療法	2通	1		1							
臨床腫瘍学	2・3通	2		1							
放射線腫瘍学	2・3通	2		1							
課題研究	3・4通	8		-							
小計(121科目)	-	8	285		22	24	9				
合計(125科目)	-	14	285		43	34	9				
卒業要件及び履修方法											
<p>修了要件</p> <p>・本研究科に4年以上在籍し、所定の30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間については、優れた研究業績を上げた者は、当該課程に3年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>履修方法</p> <p>・共通科目6単位、専門科目16単位以上、課題研究8単位の計30単位以上とする。専門科目は16単位以上のうち、主科目から8単位(主指導教員の開講する科目を1科目以上含む。ただし、がんプロフェッショナル養成コースは除く。)、副科目(主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えてよい。)から4単位、主科目・副科目に関わらず全ての開講科目から4単位以上を履修する。 ※がんプロフェッショナル養成コース選択者は、がんプロフェッショナル養成科目群の共通コアカリキュラム及びがん専門共通科目は必修とする。</p>											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	医科学概論	1前	2			11	2					
	医科学特論	1前	2			15	9					
	希少聴科学特論	1後	1			2	1					
	研究・生命倫理	1前	1			2						
	小計(4科目)	-	6			20	10					
専門科目	希少聴の機能	1・2通		4		2	0					
	発達神経科学	1・2通		4		2						
	分子形態学特論	1・2通		2		1	1					
	組織細胞科学特論	1・2通		4		1	1					
	神経細胞生物学特論	1・2通		4		1	1					
	神経生理学	1・2通		4		2	0					
	生体分子センサー特論	1・2通		4		1						
	呼吸循環生理学	1・2通		4		1	1					
	循環生理シグナル伝達学	1・2通		4		1	1					
	薬理学特論	1・2通		4		1	1					
	脂質生物学	1・2通		4		1	1					
	酵素学実験法	1・2通		4		1	1					
	医用有機化学特論	1通		4		1						
	医用分析化学特論	2通		4		1						
	分子内分泌学	1・2通		4		1	1					
	核医学画像解析	1・2通		2			1					
	毒性病理学	1・2通		2		1	1					
	分子神経病理学	1・2通		4		2		1				
	免疫組織化学	1・2通		4		1		1				
	免疫制御学	1・2通		4		1						
	寄生虫学特論	1・2通		2			1					
	衛生動物学特論	1・2通		2			1					
	微生物ゲノム科学	1・2通		2		1						
	生活習慣病予防論	1・2通		2			1					
	臨床疫学	1前		1		1	1	0				
	生物統計学	1前		1		1	1	0				
	医療管理学	1後		1		1	1	0				
	健康危機管理論	2前		1		1	1	0				
	国際保健論	2後		1		1	1	0				
	法医学特論	1・2通		2		1						
	医学教育学特論	1・2通		2		1	1					
	遺伝情報解析学	1・2通		4		1	1					
	疾患ゲノム情報学	1・2通		4		1	1					
生体分子立体構造学	1・2通		2		1	1						
実験動物学・動物遺伝学	1・2通		2			1						
糖鎖構造解析	1・2通		2			1						
希少聴と生活習慣病	1・2通		2		2	0						
バイオイメージング技術の開発・応用	1通		2		1	1						
中耳・内耳バイオイメージング	2通		2		1	1						
形成外科におけるバイオイメージング	1・2通		2		1	1						

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	細胞シグナル伝達学に基づくトランスレーショナルリサーチ	1・2通	4		1	0					
	生活習慣病診断・治療の臨床開発	1・2通	4		1	1					
	iPS細胞の応用	1・2通	2		1	1					
	糖鎖情報と臨床応用	1・2通	4		1	1					
	発がん機構	1・2通	2		1	1					
	免疫機能を調整する薬剤の開発	1・2通	4		1						
	微生物共生システムと応用	1・2通	2		1						
	健康測定・アセスメント	1・2通	2			1					
	医療経済・テクノロジーアセスメント	1前	1		1	1	0				
	医療政策論	1後	1		1	1	0				
	死因究明技術の開発	1・2通	2		1						
	タンパク質分子設計	1・2通	2		1	1					
	精神神経疾患の創薬科学	1・2通	4		1	1					
	臨床アウトカムとしてのQOL評価の応用	1前	1		1						
	臨床アウトカムとしての画像解析システム	1後	1		1						
	睡眠(終夜脳波システム)の臨床開発	1・2通	4		1	1	1				
	認知症診断の技術研究	1・2通	4		1	1	1				
	脂質異常症と心血管病	1・2通	4		1	1					
	食塩感受性高血圧モデルの臨床応用	1・2通	2		1	1					
	周産期の脳発達と子供の健康	1通	4		2						
	高速液体クロマトグラフィーの臨床応用	2通	2		1	1					
	近赤外線分光法を用いた臨床研究	2通	2		1	1					
	骨軟部腫瘍研究の臨床応用	1・2通	4		1	1					
	前立腺がんの新規マーカーの開発	1通	2		0	1					
	低侵襲手術式の開発	2通	2		0	1					
	癌とマイクロRNA	1通	2		1	1					
	癌と遺伝子異常	2通	2		1	1					
	分子イメージングの臨床応用	1・2通	4		1	1					
	動脈硬化症への遺伝子治療	1・2通	4		1	1					
	病理診断学の臨床応用	1・2通	4			1					
	神経保護薬の臨床開発	1・2通	4		0	1					
	医工融合による医療機器開発	1・2通	1		1	1					
	救急・生体侵襲制御	1・2通	2		1						
	<b>臨床栄養・微生物学</b>	<b>1・2通</b>	<b>4</b>			<b>1</b>					
希少腫瘍学	1前	1		1							
地域医療学	1後	1		1	0						
高齢者医療学	1前	1			1						
医療倫理	1前	1		2							
生活習慣病学	1後	1		1							
災害医療・災害医学	1後	1		1							
神経病学	1・2通	2		1	2						
脳神経外科学	1・2通	2		1	1						
運動器病学	1・2通	2		1	1						
精神病学	1・2通	4		1	1						
腎・泌尿器病学	1・2通	4		2	1						
感染症学	1・2通	2		1							
血液病学(血液・造血器・リンパ)	1・2通	2		2							
免疫・アレルギー疾患学	1・2通	2		1							
呼吸器病学	1・2通	4		2		1					
乳腺内分泌外科学	1・2通	2			1						

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	消化器病学	1・2通		2		2	1					
	循環器病学	1・2通		2		2	2					
	母子周産期医学	1・2通		2		1	1					
	皮膚病学	1・2通		2		1						
	眼病学	1・2通		2		0	1					
	口腔病学	1・2通		2		1	1					
	頭頸部病学	1通		2		1	1					
	耳鼻咽喉疾患学	2通		2		1	1					
	放射線医学	1・2通		2		1	1					
	痛み学	1通		2		1						
	呼吸循環制御学	2通		2		1						
	小児科学	1・2通		2		1	1					
	内分泌代謝学	1通		2		1	1					
	糖尿病学	2通		2		1	1					
	救急救命医学	1・2通		2		1						
	形態機能学	1・2通		2		1	1					
	薬学	1・2通		2		1						
	<b>小児外科学</b>	<b>1・2通</b>		<b>4</b>			<b>1</b>					
専門科目	研究方法論応用	1前		4								
	・がん疫学論					3						
	・臨床研究論					2						
	・医療統計学						1					
	悪性腫瘍の管理と治療	1後										
	・検査、診断法概論					1	2	1				
	・治療法概論					5	1	1				
	・治療合併症、支持療法、緩和治療					1	1	3				
	・老年腫瘍学					1						
	・がんの心理社会的側面						1	1				
	医療倫理学・医療経済学	1・2通				4						
	医療対話学	1・2通				2	1	1				
	がんチーム医療実習	1・2通										
	医療情報学(腫瘍学における情報システム)	1・2通				2	1	0				
	がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学	2通		4		3	1					
	臨床検査、病理、放射線診断学	2通				1	2	1				
臓器別がん治療各論	2通				7	8	3					
がん緩和治療	2通				3	4	3					
<b>放射線治療法</b>	<b>2通</b>				<b>1</b>	<b>1</b>						
臨床腫瘍学	2・3通				2	1						
放射線腫瘍学	2・3通				2	1						
課題研究	3・4通		8									
小計(122科目)	-		8	<b>289</b>		22	<b>22</b>	<b>8</b>				
合計(126科目)	-		14	<b>289</b>		<b>42</b>	<b>32</b>	<b>8</b>				
卒業要件及び履修方法												
<p>修了要件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本研究科に4年以上在籍し、所定の30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間については、優れた研究業績を上げた者は、当該課程に3年以上在学すれば足りるものとする。</li> </ul> <p>履修方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>共通科目6単位、専門科目16単位以上、課題研究8単位の計30単位以上とする。専門科目は16単位以上のうち、主科目から8単位(主指導教員の開講する科目を1科目以上含む。ただし、がんプロフェッショナル養成コースは除く。)、副科目(主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えてよい。)から4単位、主科目・副科目に関わらず全ての開講科目から4単位以上を履修する。</li> </ul> <p>※がんプロフェッショナル養成コース選択者は、がんプロフェッショナル養成科目群の共通コアカリキュラム及びがん専門共通科目は必修とする。</p>												

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・記載に過誤があったため、「地域医療学」の担当専任教員を准教授から教授に修正。

【平成29年度】

- ・担当教員辞任のため、「医科学特論」の専任教員等の配置を変更。(教授17→16)
- ・担当教員辞任のため、「神経保護薬の臨床開発」の専任教員等の配置を変更。(教授1→0)
- ・教育課程の充実のため、「臨床栄養・微生物学」の科目を追加、専任教員(准教授1)を追加。
- ・担当教員辞任のため、「眼病学」の専任教員等の配置を変更。(教授1→0)
- ・教育課程の充実のため、「小児外科学」の科目を追加、専任教員(准教授1)を1名追加。
- ・コンソーシアムと調整を行い、「放射線治療法」(教授1)の科目分類を変更。

【平成30年度】

- ・担当教員退職のため、「医科学概論」の専任教員等の配置を変更。(准教授3→2)
- ・担当教員退職のため、「医科学特論」の専任教員等の配置を変更。(教授16→15)
- ・担当教員退職のため、「希少糖の機能」の専任教員等の配置を変更。(教授1、准教授1→教授2、准教授0)
- ・担当教員退職のため、「神経生理学」の専任教員等の配置を変更。(教授1、准教授1→教授2、准教授0)
- ・教育課程の充実のため、「生体分子センサー特論」の科目を追加、専任教員(教授1)を追加。
- ・担当教員退職のため、「臨床疫学」、「生物統計学」、「医療管理学」、「健康危機管理論」、「国際保健論」、「医療経済・テクノロジーアセスメント」、「医療政策論」、「医療情報学(腫瘍学における情報システム)」の専任教員等の配置を変更。(准教授0、講師1→准教授1、講師0)
- ・担当教員退職のため、「希少糖と生活習慣病」の専任教員等の配置を変更。(教授1、准教授1→教授2、准教授0)
- ・担当教員退職のため、「細胞シグナル伝達学に基づくトランスレショナルリサーチ」の専任教員等の配置を変更。(准教授1→0)
- ・担当教員退職のため、「前立腺がんの新規マーカーの開発」、「低侵襲手術術式の開発」の専任教員等の配置を変更。(教授1、准教授0→教授0、准教授1)

【令和元年度】

- ・担当教員昇任及び担当教員採用のため、「医科学特論」の専任教員等の配置を変更。(教授15、准教授9→教授17、准教授8)
- ・授業内容充実のため、「分子形態学特論」、「組織細胞科学特論」、「バイオイメージング技術の開発・応用」の専任教員等配置を変更。(講師0→1)
- ・担当教員追加のため、「呼吸循環生理学」、「循環生理シグナル伝達学」の専任教員等の配置を変更。(准教授1→准教授2)
- ・担当教員追加のため、「分子神経病理学」の専任教員等の配置を変更。(准教授0→准教授1)
- ・担当教員追加のため、「細胞シグナル伝達学に基づくトランスレショナルリサーチ」の専任教員等の配置を変更。(准教授0→准教授1)
- ・担当教員が寄附講座へ配置換のため、「がん緩和治療」、「治療合併症、支持療法、緩和治療」の専任教員等配置を変更。(講師3、兼任・兼担0→講師2、兼任・兼担1)「睡眠(終夜脳波システム)の臨床開発」、「認知症診断の技術研究」、「医療対話学」の専任教員等配置を変更(講師1、兼任・兼担0→講師0、兼任・兼担1)
- ・担当教員昇任及び、担当教員追加のため、「前立腺がんの新規マーカーの開発」、「低侵襲手術術式の開発」の専任教員等配置を変更(教授0、准教授1→教授1、准教授1)、「腎・泌尿器病学」の専任教員等配置を変更(教授2、准教授1→教授3、准教授1)
- ・担当教員退職及び新規担当教員採用のため、「神経保護薬の臨床開発」、「眼病学」の専任教員等の配置を変更。(教授0、准教授1→教授1、准教授1)
- ・担当教員変更のため「高齢者医療学」の専任教員等配置を変更。(教授0、准教授1→教授1、准教授0)
- ・担当教員昇任のため「臓器別がん治療各論」の専任教員等配置を変更(教授7、准教授8→教授9、准教授6)

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
5 科目	118 科目	0 科目	123 科目	5 科目 [ 0 ]	121 科目 [ 3 ]	0 科目 [ 0 ]	126 科目 [ 3 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目[該当なし]

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2	未開講科目なし					
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目[該当なし]

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2	廃止科目なし					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{123} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎敷地の内、10,148㎡ を香川県より借用（毎年更新） 医学部団地にて駐車場整備 の為、校舎敷地減(30)  上記に加え、花園町・上 之町団地の面積増(30)		
	校舎敷地	165,625㎡ <del>165,905㎡</del>	0㎡	0㎡	165,625㎡ <del>165,905㎡</del>			
	運動場用地	80,981㎡	0㎡	0㎡	80,981㎡			
	小 計	246,606㎡ <del>246,886㎡</del>	0㎡	0㎡	246,606㎡ <del>246,886㎡</del>			
	そ の 他	704,405㎡ <del>701,682㎡</del>	0㎡	0㎡	704,405㎡ <del>701,682㎡</del>			
合 計	951,011㎡ <del>948,568㎡</del>	0㎡	0㎡	951,011㎡ <del>948,568㎡</del>				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	使途変更による面積の増 減(30)			
	170,034㎡ <del>169,733㎡</del> (170,034㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	170,034㎡ <del>169,733㎡</del> (170,034㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	2室	9室	40室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	医学系研究科 医学専攻（博士課程）			86 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体  購入による増刷、汚破 損等による除籍(30) 購入による増刷、汚破 損等による除籍(元)  ※博物館資産登録済の 標本数は311
	医学系研究科 医学専攻	873,572 [268,647] <del>868,430 [268,272]</del> 862,956 [267,884]	23,334 [7,161] <del>25,545 [7,342]</del> 22,992 [7,010]	5,521 [4,171] <del>5,566 [4,180]</del> 5,357 [4,155]	9,201 <del>9,120</del> 10,203	0	1,033	
		(873,572 [268,647]) ( <del>868,430 [268,272]</del> ) (862,956 [267,884])	(23,334 [7,161]) ( <del>25,545 [7,342]</del> ) (22,992 [7,010])	(5,521 [4,171]) ( <del>5,566 [4,180]</del> ) (5,357 [4,155])	(9,201) ( <del>9,120</del> ) (10,203)	(0)	(1,033)	
	計	873,572 [268,647] <del>868,430 [268,272]</del> 862,956 [267,884]	23,334 [7,161] <del>25,545 [7,342]</del> 22,992 [7,010]	5,521 [4,171] <del>5,566 [4,180]</del> 5,357 [4,155]	9,201 <del>9,120</del> 10,203	0	1,033	
	(873,572 [268,647]) ( <del>868,430 [268,272]</del> ) (862,956 [267,884])	(23,334 [7,161]) ( <del>25,545 [7,342]</del> ) (22,992 [7,010])	(5,521 [4,171]) ( <del>5,566 [4,180]</del> ) (5,357 [4,155])	(9,201) ( <del>9,120</del> ) (10,203)	(0)	(1,033)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	11,506㎡		966席 <del>936席</del>		1,104,000冊 <del>1,098,194冊</del>		パソコンルーム改修による閲覧 座席数増、書架購入による 収納可能冊数増(30)	
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体	
	5,577㎡ <del>5,571㎡</del>		運 動 場 5 面		テニスコート 14面		第二体育館改修による 面積増(30)	
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円
	共 同 研 究 費 等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要			—					

4. 既設大学等の状況

大学の名称	香川大学									備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	
教育学部	年	人	年次人	人	学士(教育学)(教養学)	倍	年度	年度	年度	年度
学校教育教員養成課程	4	160	-	640	学士(教育学)(教養学)	1.03	-	平成15	-	-
人間発達環境課程	4	160	-	640	学士(教育学)(教養学)	1.03	-	平成15	香川県高松市幸町1番1号	平成30年より学生募集停止
	4	-	-	-	学士(教育学)(教養学)	-	-	平成15	同上	
法学部	4	160	3年次10	660	学士(法学)	1.04	-	平成15	-	
(昼夜開講制)										
法学科(昼)	4	150	3年次10	620	学士(法学)	1.08	-	平成15	香川県高松市幸町2番1号	
(夜)		10	-	40		0.55	-	平成15	同上	
経済学部	4	250	3年次20	1,040	学士(経済学)	1.02	-	平成30	-	上段は昼間コース、下段は、夜間主コース
(昼夜開講制)										
経済学科(昼)	4	-	-	-	学士(経済学)	-	-	平成15	香川県高松市幸町2番1号	
(夜)		-	-	-		-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
経営システム学科(昼)	4	-	-	-		-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
(夜)		-	-	-		-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
地域社会システム学科(昼)	4	-	-	-		-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
(夜)		-	-	-		-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
経済学科(昼)	4	240	3年次20	1,000	学士(経済学)	1.03	-	平成30	香川県高松市幸町2番1号	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
(夜)		10	-	40		0.75	-	平成30	同上	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
医学部	6	109	2年次5	609	学士(医学)	1.00	平成30	平成15	-	平成21・22・24・25・30年度収容定員増による学年進行平成31年度入学者に適用される学則上の収容定員を記載
	4	80	3年次10	340	学士(看護学)(臨床心理学)	1.04	-	平成15 平成30	-	
医学科	6	109	2年次5	609	学士(医学)	1.00	平成30	平成15	香川県木田郡三木町大字池戸1750番地1	
看護学科	4	60	3年次10	260	学士(看護学)	1.04	-	平成15	同上	
臨床心理学科	4	20	-	80	学士(臨床心理学)	1.00	-	平成30	同上	
創造工学部	4	330	3年次20	1,360	学士(工学)	1.03	-	平成30	-	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
創造工学科	4	330	3年次20	1,360	学士(工学)	1.03	-	平成30	香川県高松市林町2217番地20	
工学部	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成15	-	平成30年より学生募集停止
安全システム建設工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成15	香川県高松市林町2217番地20	
電子・情報工学科	4	-	-	-		-	-	平成15	同上	
知能機械システム工学科	4	-	-	-		-	-	平成15	同上	
材料創造工学科	4	-	-	-		-	-	平成15	同上	
農学部	4	150	-	600	学士(農学)	1.03	-	平成18	-	香川県木田郡三木町大字池戸2393番地
応用生物科学科	4	150	-	600	学士(農学)	1.03	-	平成18		
大学全体(学部)	4	1,130	3年次60	4,640	-	1.03	-	-	-	
	6	109	2年次5	609	-	1.00	-	-	-	

大学 の 名 称	香 川 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
教育学研究科										
修士課程	2	37	-	74	修士 (教育学)	0.51	-	平成15	-	
学校教育専攻	2	12	-	24	修士 (教育学)	0.58	-	平成15	香川県高松市幸 町1番1号	
教科教育専攻	2	18	-	36		0.52	-	平成15	同上	
学校臨床心理専攻	2	7	-	14		0.35	-	平成15	同上	
専門職学位課程	2	14	-	28	教職修士 (専門職)	1.17	-	平成28	-	
高度教職実践専攻	2	14	-	28	教職修士 (専門職)	1.17	-	平成28	同上	
法学研究科	2	8	-	16	修士 (法学)	0.87	-	平成15	-	
修士課程										
法律学専攻	2	8	-	16	修士 (法学)	0.87	-	平成15	香川県高松市幸 町2番1号	
経済学研究科	2	10	-	20	修士 (経済学)	0.60	-	平成15	-	
修士課程										
経済学専攻	2	10	-	20	修士 (経済学)	0.60	-	平成15	香川県高松市幸 町2番1号	
医学系研究科										
修士課程	2	16	-	32	修士 (看護学)	0.65	-	平成15	-	
看護学専攻	2	16	-	32	修士 (看護学)	0.65	-	平成15	香川県木田郡三 木町大字池戸 1750番地1	
博士課程	4	30	-	120	博士 (医学)	1.12	-	平成28	-	
機能構築医学専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-	-	平成15	同上	平成28年より学 生募集停止
分子情報制御医学専攻	4	-	-	-		-	-	平成15	同上	平成28年より学 生募集停止
社会環境病態医学専攻	4	-	-	-		-	-	平成15	同上	平成28年より学 生募集停止
医学専攻	4	30	-	120		1.12	-	平成28	同上	平成27年度事前伺 い平成28年4月設置
工学研究科										
博士前期課程	2	78	-	156	修士 (工学)	1.34	-	平成15	-	
安全システム建設工学専攻	2	18	-	36	修士 (工学)	0.63	-	平成15	香川県高松市林 町2217番地20	
信頼性情報システム工学 専攻	2	24	-	48		1.20	-	平成15	同上	
知能機械システム工学専攻	2	18	-	36		1.80	-	平成15	同上	
材料創造工学専攻	2	18	-	36		1.80	-	平成15	同上	
博士後期課程	3	22	-	66	博士 (工学)	0.46	-	平成16	-	
安全システム建設工学専攻	3	5	-	15	博士 (工学)	0.60	-	平成16	同上	
信頼性情報システム工学 専攻	3	7	-	21		0.14	-	平成16	同上	
知能機械システム工学専攻	3	5	-	15		0.93	-	平成16	同上	
材料創造工学専攻	3	5	-	15		0.33	-	平成16	同上	
農学研究科	2	60	-	120	修士 (農学)	0.91	-	平成30	-	
修士課程										
生物資源生産学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	-	平成18	香川県木田郡三 木町大字池戸 2393番地	平成30年より学 生募集停止
生物資源利用学専攻	2	-	-	-		-	-	平成18	同上	平成30年より学 生募集停止
応用生物・希少糖科学専攻	2	60	-	120	修士 (農学)	0.91	-	平成30	同上	平成29年度事前伺 い平成30年4月設置

大学の名称	香川大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所在地	
地域マネジメント研究科	2	30	-	60	経営修士 (専門職)	0.93	-	平成16	-	
専門職学位課程 地域マネジメント 専攻	2	30	-	60	経営修士 (専門職)	0.93	-	平成16	香川県高松市幸 町2番1号	
大学全体（大学院）	2	253	-	506	-	0.97	-	-	-	
	3	22	-	66	-	0.46	-	-	-	
	4	30	-	120	-	1.12	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<医学研究科 医学専攻(博士課程)>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成28年度】			【平成29年度】			【平成30年度】			【令和元年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等 担当授業科目名
専	教授	三木 崇範 <平成28年4月> 医学博士 医科学概論 医科学特論 研究・生命倫理 発達神経科学 分子神経病理学 周産期の脳発達と子供の健康 医療倫理 医療倫理学・医療経済学 課題研究	専	教授	三木 崇範 <平成28年4月> 医学博士 医科学概論 医科学特論 研究・生命倫理 発達神経科学 分子神経病理学 周産期の脳発達と子供の健康 医療倫理 医療倫理学・医療経済学 課題研究	専	教授	三木 崇範 <平成28年4月> 医学博士 医科学概論 医科学特論 研究・生命倫理 発達神経科学 分子神経病理学 周産期の脳発達と子供の健康 医療倫理 医療倫理学・医療経済学 課題研究	専	教授	三木 崇範 <平成28年4月> 医学博士 発達神経科学 分子神経病理学 周産期の脳発達と子供の健康 医療倫理学・医療経済学 課題研究	専	教授	三木 崇範 <平成28年4月> 医学博士 発達神経科学 分子神経病理学 周産期の脳発達と子供の健康 医療倫理学・医療経済学 課題研究
専	教授	荒木 伸一 <平成28年4月> 医学博士 医科学特論 分子形態学特論 組織細胞科学特論 バイオイメージング技術の開発・応用 課題研究	専	教授	荒木 伸一 <平成28年4月> 医学博士 医科学特論 分子形態学特論 組織細胞科学特論 バイオイメージング技術の開発・応用 課題研究	専	教授	荒木 伸一 <平成28年4月> 医学博士 医科学特論 分子形態学特論 組織細胞科学特論 バイオイメージング技術の開発・応用 課題研究	専	教授	荒木 伸一 <平成28年4月> 医学博士 医科学特論 分子形態学特論 組織細胞科学特論 バイオイメージング技術の開発・応用 課題研究	専	教授	荒木 伸一 <平成28年4月> 医学博士 医科学特論 分子形態学特論 組織細胞科学特論 バイオイメージング技術の開発・応用 課題研究
専	准教授	三宅 克也 <平成28年4月> 農学修士、医学博士 分子形態学特論 組織細胞科学特論 バイオイメージング技術の開発・応用												
専	教授	徳田 雅明 <平成28年4月> 医学博士 医科学概論 医科学特論 希少糖科学特論 希少糖の機能 神経生理学 希少糖と生活習慣病 課題研究	専	教授	徳田 雅明 <平成28年4月> 医学博士 医科学概論 医科学特論 希少糖科学特論 希少糖の機能 神経生理学 希少糖と生活習慣病 課題研究	専	教授	徳田 雅明 <平成28年4月> 医学博士 医科学概論 医科学特論 希少糖科学特論 希少糖の機能 神経生理学 希少糖と生活習慣病 課題研究						
専	准教授	山口 文徳 <平成28年4月> 医学博士 医科学特論 希少糖科学特論 希少糖の機能 神経生理学 希少糖と生活習慣病	専	准教授	山口 文徳 <平成28年4月> 医学博士 医科学特論 希少糖科学特論 希少糖の機能 神経生理学 希少糖と生活習慣病	専	准教授	山口 文徳 <平成28年4月> 医学博士 医科学特論 希少糖科学特論 希少糖の機能 神経生理学 希少糖と生活習慣病						
専	教授	平野 勝也 <平成28年4月> 博士(医学) 医科学特論 呼吸循環生理学 循環生理シグナル伝達学 細胞シグナル伝達学に基づく トランスレーショナルリサーチ 課題研究	専	教授	平野 勝也 <平成28年4月> 博士(医学) 医科学特論 呼吸循環生理学 循環生理シグナル伝達学 細胞シグナル伝達学に基づく トランスレーショナルリサーチ 課題研究	専	教授	平野 勝也 <平成28年4月> 博士(医学) 医科学特論 呼吸循環生理学 循環生理シグナル伝達学 細胞シグナル伝達学に基づく トランスレーショナルリサーチ 課題研究	専	教授	平野 勝也 <平成28年4月> 博士(医学) 医科学特論 呼吸循環生理学 循環生理シグナル伝達学 細胞シグナル伝達学に基づく トランスレーショナルリサーチ 課題研究	専	教授	平野 勝也 <平成28年4月> 博士(医学) 医科学特論 呼吸循環生理学 循環生理シグナル伝達学 細胞シグナル伝達学に基づく トランスレーショナルリサーチ 課題研究
専	准教授	五十嵐 淳介 <平成28年4月> 博士(医学) 医科学特論 循環生理シグナル伝達学 細胞シグナル伝達学に基づく トランスレーショナルリサーチ	専	准教授	五十嵐 淳介 <平成28年4月> 博士(医学) 医科学特論 循環生理シグナル伝達学 細胞シグナル伝達学に基づく トランスレーショナルリサーチ									
専	教授	上田 夏生 <平成28年4月> 医学博士 医科学特論 脂質生物学 酵素学実験法 課題研究	専	教授	上田 夏生 <平成28年4月> 医学博士 医科学特論 脂質生物学 酵素学実験法 課題研究	専	教授	上田 夏生 <平成28年4月> 医学博士 医科学特論 脂質生物学 酵素学実験法 課題研究	専	教授	上田 夏生 <平成28年4月> 医学博士 医科学特論 脂質生物学 酵素学実験法 課題研究	専	教授	上田 夏生 <平成28年4月> 医学博士 医科学特論 脂質生物学 酵素学実験法 課題研究
専	准教授	大西 平 <平成28年4月> 医学博士 脂質生物学 酵素学実験法	専	准教授	大西 平 <平成28年4月> 医学博士 脂質生物学 酵素学実験法	専	准教授	大西 平 <平成28年4月> 医学博士 脂質生物学 酵素学実験法	専	准教授	大西 平 <平成28年4月> 医学博士 脂質生物学 酵素学実験法	専	准教授	大西 平 <平成28年4月> 医学博士 脂質生物学 酵素学実験法
専	教授	中村 隆範 <平成28年4月> 理学博士 医科学概論 分子内分分泌学 糖鎖情報と臨床応用 課題研究	専	教授	中村 隆範 <平成28年4月> 理学博士 医科学概論 分子内分分泌学 糖鎖情報と臨床応用 課題研究	専	教授	中村 隆範 <平成28年4月> 理学博士 医科学概論 分子内分分泌学 糖鎖情報と臨床応用 課題研究	専	教授	中村 隆範 <平成28年4月> 理学博士 医科学概論 分子内分分泌学 糖鎖情報と臨床応用 課題研究	専	教授	中村 隆範 <平成28年4月> 理学博士 医科学概論 分子内分分泌学 糖鎖情報と臨床応用 課題研究
専	教授	今井田 克己 <平成28年4月> 医学博士 毒性病理学 発がん機構 がんのベンチサイエンス 臨床薬理学 課題研究	専	教授	今井田 克己 <平成28年4月> 医学博士 毒性病理学 発がん機構 がんのベンチサイエンス 臨床薬理学 課題研究	専	教授	今井田 克己 <平成28年4月> 医学博士 毒性病理学 発がん機構 がんのベンチサイエンス 臨床薬理学 課題研究	専	教授	今井田 克己 <平成28年4月> 医学博士 毒性病理学 発がん機構 がんのベンチサイエンス 臨床薬理学 課題研究	専	教授	今井田 克己 <平成28年4月> 医学博士 毒性病理学 発がん機構 がんのベンチサイエンス 臨床薬理学 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	横平 政直	＜平成28年4月＞ 博士(医学)	毒性病理学 発がん機構	専	准教授	横平 政直	＜平成28年4月＞ 博士(医学)	毒性病理学 発がん機構 分子形態学特論 組織細胞科学特論 バイオイメージング技術の開発・応用	専	准教授	横平 政直	＜平成28年4月＞ 博士(医学)	毒性病理学 発がん機構 分子形態学特論 組織細胞科学特論 バイオイメージング技術の開発・応用	専	准教授	横平 政直	＜平成28年4月＞ 博士(医学)	毒性病理学 発がん機構 分子形態学特論 組織細胞科学特論 バイオイメージング技術の開発・応用
専	教授	上野 正樹	＜平成28年4月＞ 博士(医学)	医科学特論 分子神経病理学 免疫組織化学 課題研究	専	教授	上野 正樹	＜平成28年4月＞ 博士(医学)	医科学特論 分子神経病理学 免疫組織化学 課題研究	専	教授	上野 正樹	＜平成28年4月＞ 博士(医学)	医科学特論 分子神経病理学 免疫組織化学 課題研究	専	教授	上野 正樹	＜平成28年4月＞ 博士(医学)	医科学特論 分子神経病理学 免疫組織化学 課題研究
専	講師	千葉 陽一	＜平成28年4月＞ 博士(医学)	分子神経病理学 免疫組織化学 検査・診断法特論 治療合併症・支持療法・緩和治療 臨床検査・病理・放射線診断学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療	専	講師	千葉 陽一	＜平成28年4月＞ 博士(医学)	分子神経病理学 免疫組織化学	専	講師	千葉 陽一	＜平成28年4月＞ 博士(医学)	分子神経病理学 免疫組織化学	専	講師	千葉 陽一	＜平成28年4月＞ 博士(医学)	分子神経病理学 免疫組織化学
専	教授	星野 克明	＜平成28年4月＞ 修士(理学)、博士(理学)	医科学概論 医科学特論 免疫制御学 免疫機能を調整する薬剤の開発 課題研究	専	教授	星野 克明	＜平成28年4月＞ 修士(理学)、博士(理学)	医科学概論 医科学特論 免疫制御学 免疫機能を調整する薬剤の開発 課題研究	専	教授	星野 克明	＜平成28年4月＞ 修士(理学)、博士(理学)	医科学概論 医科学特論 免疫制御学 免疫機能を調整する薬剤の開発 課題研究 希少臓科学特論 希少臓の機能 希少臓と生活習慣病	専	教授	星野 克明	＜平成28年4月＞ 修士(理学)、博士(理学)	医科学概論 医科学特論 免疫制御学 免疫機能を調整する薬剤の開発 課題研究 希少臓科学特論 希少臓の機能 希少臓と生活習慣病
専	准教授	新井 明治	＜平成28年4月＞ 博士(医学)	寄生虫学特論 衛生動物学特論 課題研究	専	准教授	新井 明治	＜平成28年4月＞ 博士(医学)	寄生虫学特論 衛生動物学特論 課題研究	専	准教授	新井 明治	＜平成28年4月＞ 博士(医学)	寄生虫学特論 衛生動物学特論 課題研究 希少臓科学特論 医科学特論	専	准教授	新井 明治	＜平成28年4月＞ 博士(医学)	寄生虫学特論 衛生動物学特論 課題研究 希少臓科学特論 医科学特論
専	教授	西山 成	＜平成28年4月＞ 博士(医学)	医科学特論 研究・生命倫理 薬理学特論 生活習慣病診断・治療の前臨床開発 IPS細胞の応用 腎・泌尿器病学 臨床研究論 がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 課題研究	専	教授	西山 成	＜平成28年4月＞ 博士(医学)	医科学特論 研究・生命倫理 薬理学特論 生活習慣病診断・治療の前臨床開発 IPS細胞の応用 腎・泌尿器病学 臨床研究論 がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 課題研究	専	教授	西山 成	＜平成28年4月＞ 博士(医学)	医科学特論 研究・生命倫理 薬理学特論 生活習慣病診断・治療の前臨床開発 IPS細胞の応用 腎・泌尿器病学 臨床研究論 がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 課題研究 希少臓の機能 希少臓と生活習慣病	専	教授	西山 成	＜平成28年4月＞ 博士(医学)	医科学特論 研究・生命倫理 薬理学特論 生活習慣病診断・治療の前臨床開発 IPS細胞の応用 腎・泌尿器病学 臨床研究論 がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 課題研究 希少臓の機能 希少臓と生活習慣病
専	教授	竹崎 直子	＜平成28年4月＞ 修士(科学)、博士(哲学)	医科学特論 遺伝情報解析学 疾患ゲノム情報学 がん疫学論 課題研究	専	教授	竹崎 直子	＜平成28年4月＞ 修士(科学)、博士(哲学)	医科学特論 遺伝情報解析学 疾患ゲノム情報学 がん疫学論 課題研究	専	教授	竹崎 直子	＜平成28年4月＞ 修士(科学)、博士(哲学)	医科学特論 遺伝情報解析学 疾患ゲノム情報学 がん疫学論 課題研究	専	教授	竹崎 直子	＜平成28年4月＞ 修士(科学)、博士(哲学)	医科学特論 遺伝情報解析学 疾患ゲノム情報学 がん疫学論 課題研究
専	准教授	岩間 久和	＜平成28年4月＞ 博士(医学)	医科学特論 遺伝情報解析学 疾患ゲノム情報学 課題研究	専	准教授	岩間 久和	＜平成28年4月＞ 博士(医学)	医科学特論 遺伝情報解析学 疾患ゲノム情報学 課題研究	専	准教授	岩間 久和	＜平成28年4月＞ 博士(医学)	医科学特論 遺伝情報解析学 疾患ゲノム情報学 課題研究	専	准教授	岩間 久和	＜平成28年4月＞ 博士(医学)	医科学特論 遺伝情報解析学 疾患ゲノム情報学 課題研究
専	教授	神島 成弘	＜平成28年4月＞ 理学修士、理学博士	医科学概論 医科学特論 生体分子立体構造学 タンパク質分子設計 課題研究	専	教授	神島 成弘	＜平成28年4月＞ 理学修士、理学博士	医科学概論 医科学特論 生体分子立体構造学 タンパク質分子設計 課題研究	専	教授	神島 成弘	＜平成28年4月＞ 理学修士、理学博士	医科学概論 医科学特論 生体分子立体構造学 タンパク質分子設計 課題研究	専	教授	神島 成弘	＜平成28年4月＞ 理学修士、理学博士	医科学概論 医科学特論 生体分子立体構造学 タンパク質分子設計 課題研究
専	准教授	吉田 裕美	＜平成28年4月＞ 修士(工学)、博士(工学)	医科学特論 生体分子立体構造学 タンパク質分子設計 課題研究	専	准教授	吉田 裕美	＜平成28年4月＞ 修士(工学)、博士(工学)	医科学特論 生体分子立体構造学 タンパク質分子設計 課題研究	専	准教授	吉田 裕美	＜平成28年4月＞ 修士(工学)、博士(工学)	医科学特論 生体分子立体構造学 タンパク質分子設計 課題研究	専	准教授	吉田 裕美	＜平成28年4月＞ 修士(工学)、博士(工学)	医科学特論 生体分子立体構造学 タンパク質分子設計 課題研究
専	准教授	西 望	＜平成28年4月＞ 理学博士	医科学概論 医科学特論 分子内分必学 糖鎖情報と臨床応用 課題研究	専	准教授	西 望	＜平成28年4月＞ 理学博士	医科学概論 医科学特論 分子内分必学 糖鎖情報と臨床応用 課題研究	専	准教授	西 望	＜平成28年4月＞ 理学博士	医科学概論 医科学特論 分子内分必学 糖鎖情報と臨床応用 課題研究 細胞シグナル伝達学に基づく トランスレーショナルリサーチ	専	准教授	西 望	＜平成28年4月＞ 理学博士	医科学概論 医科学特論 分子内分必学 糖鎖情報と臨床応用 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	<就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	<就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	<就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	<就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	宮下 信泉	<平成28年4月> 理学修士, 医学博士	医科学概論 神経細胞生物学特論 実験動物学・動物遺伝学 精神神経疾患の創薬科学 課題研究	専	准教授	宮下 信泉	<平成28年4月> 理学修士, 医学博士	医科学概論 神経細胞生物学特論 実験動物学・動物遺伝学 精神神経疾患の創薬科学 課題研究	専	准教授	宮下 信泉	<平成28年4月> 理学修士, 医学博士	医科学概論 神経細胞生物学特論 実験動物学・動物遺伝学 精神神経疾患の創薬科学 課題研究	専	准教授	宮下 信泉	<平成28年4月> 理学修士, 医学博士	医科学概論 神経細胞生物学特論 実験動物学・動物遺伝学 精神神経疾患の創薬科学 課題研究
専	准教授	中北 慎一	<平成28年4月> 修士(水産学), 博士(理学)	糖鎖構造解析 課題研究	専	准教授	中北 慎一	<平成28年4月> 修士(水産学), 博士(理学)	糖鎖構造解析 課題研究 <b>医科学特論</b>	専	准教授	中北 慎一	<平成28年4月> 修士(水産学), 博士(理学)	糖鎖構造解析 課題研究 <b>医科学特論</b> <b>糖鎖情報と臨床応用</b>	専	准教授	中北 慎一	<平成28年4月> 修士(水産学), 博士(理学)	糖鎖構造解析 課題研究 <b>医科学特論</b> <b>糖鎖情報と臨床応用</b>
専	教授	桑原 知巳	<平成28年4月> 博士(医学)	微生物ゲノム科学 微生物共生システムと応用 課題研究	専	教授	桑原 知巳	<平成28年4月> 博士(医学)	微生物ゲノム科学 微生物共生システムと応用 課題研究	専	教授	桑原 知巳	<平成28年4月> 博士(医学)	微生物ゲノム科学 微生物共生システムと応用 課題研究	専	教授	桑原 知巳	<平成28年4月> 博士(医学)	微生物ゲノム科学 微生物共生システムと応用 課題研究
専	准教授	宮武 伸行	<平成28年4月> 博士(医学)	医科学特論 生活習慣病予防論 生活習慣病診断・治療の前臨床開発 健康測定・アセスメント 医療統計学 課題研究	専	准教授	宮武 伸行	<平成28年4月> 博士(医学)	医科学特論 生活習慣病予防論 生活習慣病診断・治療の前臨床開発 健康測定・アセスメント 医療統計学 課題研究	専	准教授	宮武 伸行	<平成28年4月> 博士(医学)	医科学特論 生活習慣病予防論 生活習慣病診断・治療の前臨床開発 健康測定・アセスメント 医療統計学 課題研究 <b>臨床検査学</b> <b>生物統計学</b> <b>医療管理論</b> <b>国際保健論</b> <b>医療経済・テクノロジーアセスメント</b> <b>医療政策論</b> <b>医療情報学(腫瘍学における情報システム)</b>	専	准教授	宮武 伸行	<平成28年4月> 博士(医学)	医科学特論 生活習慣病予防論 生活習慣病診断・治療の前臨床開発 健康測定・アセスメント 医療統計学 課題研究 <b>臨床検査学</b> <b>生物統計学</b> <b>医療管理論</b> <b>国際保健論</b> <b>医療経済・テクノロジーアセスメント</b> <b>医療政策論</b> <b>医療情報学(腫瘍学における情報システム)</b>
専	教授	平尾 智広	<平成28年4月> 博士(医学)	医科学特論 臨床疫学 医療管理論 健康危機管理論 国際保健論 医療経済・テクノロジーアセスメント 医療政策論 医療倫理学・医療経済学 課題研究	専	教授	平尾 智広	<平成28年4月> 博士(医学)	医科学特論 臨床疫学 医療管理論 健康危機管理論 国際保健論 医療経済・テクノロジーアセスメント 医療政策論 医療倫理学・医療経済学 課題研究	専	教授	平尾 智広	<平成28年4月> 博士(医学)	医科学特論 臨床疫学 医療管理論 健康危機管理論 国際保健論 医療経済・テクノロジーアセスメント 医療政策論 医療倫理学・医療経済学 課題研究	専	教授	平尾 智広	<平成28年4月> 博士(医学)	医科学特論 臨床疫学 医療管理論 健康危機管理論 国際保健論 医療経済・テクノロジーアセスメント 医療政策論 医療倫理学・医療経済学 課題研究
専	講師	依田 健志	<平成28年4月> 博士(医学)	臨床疫学 生物統計学 医療管理論 健康危機管理論 国際保健論 医療経済・テクノロジーアセスメント 医療政策論 医療情報学(腫瘍学における情報システム) 睡眠(終夜脳波システム)の臨床開発 認知症診断の技術研究 治療合併症・支持療法・緩和治療 がん緩和治療 臓器別がん治療各論	専	講師	依田 健志	<平成28年4月> 博士(医学)	臨床疫学 生物統計学 医療管理論 健康危機管理論 国際保健論 医療経済・テクノロジーアセスメント 医療政策論 医療情報学(腫瘍学における情報システム)	専	講師	依田 健志	<平成28年4月> 博士(医学)	臨床疫学 生物統計学 医療管理論 健康危機管理論 国際保健論 医療経済・テクノロジーアセスメント 医療政策論 医療情報学(腫瘍学における情報システム)	専	講師	依田 健志	<平成28年4月> 博士(医学)	臨床疫学 生物統計学 医療管理論 健康危機管理論 国際保健論 医療経済・テクノロジーアセスメント 医療政策論 医療情報学(腫瘍学における情報システム)
専	教授	木下 博之	<平成28年4月> 博士(医学)	法医学特論 死因究明技術の開発 課題研究	専	教授	木下 博之	<平成28年4月> 博士(医学)	法医学特論 死因究明技術の開発 課題研究	専	教授	木下 博之	<平成28年4月> 博士(医学)	法医学特論 死因究明技術の開発 課題研究	専	教授	木下 博之	<平成28年4月> 博士(医学)	法医学特論 死因究明技術の開発 課題研究
専	教授	門脇 則光	<平成28年4月> 博士(医学)	血液病学(血液・造血器・リンパ) 免疫・アレルギー疾患学 呼吸器病学 治療法概論 がんのベーシックサイエンス 臨床実理学 臓器別がん治療各論 課題研究	専	教授	門脇 則光	<平成28年4月> 博士(医学)	血液病学(血液・造血器・リンパ) 免疫・アレルギー疾患学 呼吸器病学 治療法概論 がんのベーシックサイエンス 臨床実理学 臓器別がん治療各論 課題研究	専	教授	門脇 則光	<平成28年4月> 博士(医学)	血液病学(血液・造血器・リンパ) 免疫・アレルギー疾患学 呼吸器病学 治療法概論 がんのベーシックサイエンス 臨床実理学 臓器別がん治療各論 課題研究	専	教授	門脇 則光	<平成28年4月> 博士(医学)	血液病学(血液・造血器・リンパ) 免疫・アレルギー疾患学 呼吸器病学 治療法概論 がんのベーシックサイエンス 臨床実理学 臓器別がん治療各論 課題研究
専	教授	南野 哲男	<平成28年4月> 博士(医学)	脂質異常症と心血管病 食塩感受性高血圧モデルの臨床応用 腎・泌尿器病学 循環器病学 老年腫瘍学 課題研究	専	教授	南野 哲男	<平成28年4月> 博士(医学)	脂質異常症と心血管病 食塩感受性高血圧モデルの臨床応用 腎・泌尿器病学 循環器病学 老年腫瘍学 課題研究	専	教授	南野 哲男	<平成28年4月> 博士(医学)	脂質異常症と心血管病 食塩感受性高血圧モデルの臨床応用 腎・泌尿器病学 循環器病学 老年腫瘍学 課題研究 <b>医科学概論</b> <b>医科学特論</b> <b>研究・生命倫理</b> <b>医療倫理</b>	専	教授	南野 哲男	<平成28年4月> 博士(医学)	脂質異常症と心血管病 食塩感受性高血圧モデルの臨床応用 腎・泌尿器病学 循環器病学 老年腫瘍学 課題研究 <b>医科学概論</b> <b>医科学特論</b> <b>研究・生命倫理</b> <b>医療倫理</b>



専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	鈴木 康之 <平成28年4月> 医学博士				
		消化器病学 医療倫理学・医療経済学 臓器別がん治療各論 課題研究	消化器病学 医療倫理学・医療経済学 臓器別がん治療各論 課題研究	消化器病学 医療倫理学・医療経済学 臓器別がん治療各論 課題研究	消化器病学 医療倫理学・医療経済学 臓器別がん治療各論 課題研究	消化器病学 医療倫理学・医療経済学 臓器別がん治療各論 課題研究
専	教授	横見瀬 裕保 <平成28年4月> 医学博士				
		医科学概論 呼吸器病学 治療法概論 医療倫理学・医療経済学 臓器別がん治療各論 課題研究	医科学概論 呼吸器病学 治療法概論 医療倫理学・医療経済学 臓器別がん治療各論 課題研究	医科学概論 呼吸器病学 治療法概論 医療倫理学・医療経済学 臓器別がん治療各論 課題研究	医科学概論 呼吸器病学 治療法概論 医療倫理学・医療経済学 臓器別がん治療各論 課題研究	医科学概論 呼吸器病学 治療法概論 医療倫理学・医療経済学 臓器別がん治療各論 課題研究
専	准教授	紺谷 桂一 <平成28年4月> 博士(医学)				
		乳腺内分泌外科学 治療法概論 臓器別がん治療各論	乳腺内分泌外科学 治療法概論 臓器別がん治療各論	乳腺内分泌外科学 治療法概論 臓器別がん治療各論	乳腺内分泌外科学 治療法概論 臓器別がん治療各論	乳腺内分泌外科学 治療法概論 臓器別がん治療各論
専	教授	山本 哲司 <平成28年4月> 医学博士				
		骨軟部腫瘍研究の臨床応用 運動器病学 臨床検査・病理・放射線診断学 臓器別がん治療各論 課題研究	骨軟部腫瘍研究の臨床応用 運動器病学 臨床検査・病理・放射線診断学 臓器別がん治療各論 課題研究	骨軟部腫瘍研究の臨床応用 運動器病学 臨床検査・病理・放射線診断学 臓器別がん治療各論 課題研究	骨軟部腫瘍研究の臨床応用 運動器病学 臨床検査・病理・放射線診断学 臓器別がん治療各論 課題研究	骨軟部腫瘍研究の臨床応用 運動器病学 臨床検査・病理・放射線診断学 臓器別がん治療各論 課題研究
専	准教授	真柴 賛 <平成28年4月> 博士(医学)				
		骨軟部腫瘍研究の臨床応用 運動器病学	骨軟部腫瘍研究の臨床応用 運動器病学	骨軟部腫瘍研究の臨床応用 運動器病学 <b>形態機能学</b>	骨軟部腫瘍研究の臨床応用 運動器病学	骨軟部腫瘍研究の臨床応用 運動器病学 <b>形態機能学</b>
専	教授	田中 嘉雄 <平成28年4月> 博士(医学)	田中 嘉雄 <平成28年4月> 博士(医学)			
		形成外科におけるバイオイメージング 医工融合による医療機器開発 形態機能学 課題研究	形成外科におけるバイオイメージング 医工融合による医療機器開発 形態機能学 課題研究			
専	准教授	永羊 智久 <平成28年4月> 博士(医学)				
		形成外科におけるバイオイメージング 医工融合による医療機器開発 形態機能学	形成外科におけるバイオイメージング 医工融合による医療機器開発 形態機能学	形成外科におけるバイオイメージング 医工融合による医療機器開発 形態機能学 <b>課題研究</b>	形成外科におけるバイオイメージング 医工融合による医療機器開発 形態機能学	形成外科におけるバイオイメージング 医工融合による医療機器開発 形態機能学 <b>課題研究</b>
専	教授	寛 善行 <平成28年4月> 医学博士	寛 善行 <平成28年4月> 医学博士	寛 善行 <平成28年4月> 医学博士		
		医科学特論 前立腺がんの新規マーカーの開発 低侵襲手術術式の開発 課題研究	医科学特論 前立腺がんの新規マーカーの開発 低侵襲手術術式の開発 課題研究	医科学特論 前立腺がんの新規マーカーの開発 低侵襲手術術式の開発 課題研究		
専	教授	田宮 隆 <平成28年4月> 医学博士				
		脳神経外科学 課題研究	脳神経外科学 課題研究	脳神経外科学 課題研究	脳神経外科学 課題研究	脳神経外科学 課題研究
専	准教授	三宅 啓介 <平成28年4月> 博士(医学)				
		iPS細胞の応用 脳神経外科学 臓器別がん治療各論	iPS細胞の応用 脳神経外科学 臓器別がん治療各論	iPS細胞の応用 脳神経外科学 臓器別がん治療各論	iPS細胞の応用 脳神経外科学 臓器別がん治療各論	iPS細胞の応用 脳神経外科学 臓器別がん治療各論
専	教授	辻川 明孝 <平成28年4月> 博士(医学)	辻川 明孝 <平成28年4月> 博士(医学)			
		医科学特論 神経保護薬の臨床開発 眼病学 課題研究	医科学特論 神経保護薬の臨床開発 眼病学 課題研究			
専	准教授	廣岡 一行 <平成28年4月> 博士(医学)				
		医科学特論 神経保護薬の臨床開発 眼病学	医科学特論 神経保護薬の臨床開発 眼病学	医科学特論 神経保護薬の臨床開発 眼病学	医科学特論 神経保護薬の臨床開発 眼病学	医科学特論 神経保護薬の臨床開発 眼病学



専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名				担当授業科目名	
専	准教授	久富 信之 <平成28年4月> 修士(理学), 博士(理学)	久富 信之 <平成28年4月> 修士(理学), 博士(理学)	久富 信之 <平成28年4月> 修士(理学), 博士(理学)	久富 信之 <平成28年4月> 修士(理学), 博士(理学)	久富 信之 <平成28年4月> 修士(理学), 博士(理学)	久富 信之 <平成28年4月> 修士(理学), 博士(理学)
		核医学画像解析 課題研究		核医学画像解析 課題研究		核医学画像解析 課題研究	
専	教授	和田 健司 <平成28年4月> 工学修士, 博士(工学)	和田 健司 <平成28年4月> 工学修士, 博士(工学)	和田 健司 <平成28年4月> 工学修士, 博士(工学)	和田 健司 <平成28年4月> 工学修士, 博士(工学)	和田 健司 <平成28年4月> 工学修士, 博士(工学)	和田 健司 <平成28年4月> 工学修士, 博士(工学)
		医用有機化学特論 医用分析化学特論 課題研究		医用有機化学特論 医用分析化学特論 課題研究		医用有機化学特論 医用分析化学特論 課題研究	
専	教授	山本 融 <平成28年4月> 薬学修士, 博士(薬学)	山本 融 <平成28年4月> 薬学修士, 博士(薬学)	山本 融 <平成28年4月> 薬学修士, 博士(薬学)	山本 融 <平成28年4月> 薬学修士, 博士(薬学)	山本 融 <平成28年4月> 薬学修士, 博士(薬学)	山本 融 <平成28年4月> 薬学修士, 博士(薬学)
		医科学概論 神経細胞生物学特論 精神神経疾患の創薬科学 課題研究		医科学概論 神経細胞生物学特論 精神神経疾患の創薬科学 課題研究		医科学概論 神経細胞生物学特論 精神神経疾患の創薬科学 課題研究	
専	教授	岡田 宏基 <平成28年4月> 博士(医学)	岡田 宏基 <平成28年4月> 博士(医学)	岡田 宏基 <平成28年4月> 博士(医学)	岡田 宏基 <平成28年4月> 博士(医学)	岡田 宏基 <平成28年4月> 博士(医学)	岡田 宏基 <平成28年4月> 博士(医学)
		医学教育学特論 医療倫理 感染症学 血液病(血液・造血器・リンパ) 課題研究		医学教育学特論 医療倫理 感染症学 血液病(血液・造血器・リンパ) 課題研究		医学教育学特論 医療倫理 感染症学 血液病(血液・造血器・リンパ) 課題研究	
専	准教授	西屋 克己 <平成28年4月> 博士(医学)	西屋 克己 <平成28年4月> 博士(医学)				
		医学教育学特論					
専	講師	坂東 修二 <平成28年4月> 博士(医学)	坂東 修二 <平成28年4月> 博士(医学)	坂東 修二 <平成28年4月> 博士(医学)	坂東 修二 <平成28年4月> 博士(医学)	坂東 修二 <平成28年4月> 博士(医学)	坂東 修二 <平成28年4月> 博士(医学)
		呼吸器病学 治療概論 治療合併症、支持療法、緩和治療 がんのベーシックサイエンス、臨床実理学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療 がんの心理社会的側面 医療対話学		呼吸器病学 治療概論 治療合併症、支持療法、緩和治療 がんのベーシックサイエンス、臨床実理学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療 がんの心理社会的側面 医療対話学		呼吸器病学 治療概論 治療合併症、支持療法、緩和治療 がんのベーシックサイエンス、臨床実理学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療 がんの心理社会的側面 医療対話学	
専	教授	舛形 尚 <平成28年4月> 医学博士	舛形 尚 <平成28年4月> 医学博士	舛形 尚 <平成28年4月> 医学博士	舛形 尚 <平成28年4月> 医学博士	舛形 尚 <平成28年4月> 医学博士	舛形 尚 <平成28年4月> 医学博士
		地域医療学 がん疫学論 医療対話学 医療情報学(腫瘍学における情報システム) 課題研究		地域医療学 がん疫学論 医療対話学 医療情報学(腫瘍学における情報システム) 課題研究		地域医療学 がん疫学論 医療対話学 医療情報学(腫瘍学における情報システム) 課題研究	
専	准教授	岡野 圭一 <平成28年4月> 博士(医学)	岡野 圭一 <平成28年4月> 博士(医学)	岡野 圭一 <平成28年4月> 博士(医学)	岡野 圭一 <平成28年4月> 博士(医学)	岡野 圭一 <平成28年4月> 博士(医学)	岡野 圭一 <平成28年4月> 博士(医学)
		臓器別がん治療各論		臓器別がん治療各論		臓器別がん治療各論	
専	准教授	杉元 幹史 <平成28年4月> 博士(医学)	杉元 幹史 <平成28年4月> 博士(医学)	杉元 幹史 <平成28年4月> 博士(医学)	杉元 幹史 <平成28年4月> 博士(医学)	杉元 幹史 <平成28年4月> 博士(医学)	杉元 幹史 <平成28年4月> 博士(医学)
		腎・泌尿器病学 臓器別がん治療各論		腎・泌尿器病学 臓器別がん治療各論		腎・泌尿器病学 臓器別がん治療各論	
専	准教授	臼杵 尚志 <平成28年4月> 医学博士	臼杵 尚志 <平成28年4月> 医学博士	臼杵 尚志 <平成28年4月> 医学博士	臼杵 尚志 <平成28年4月> 医学博士	臼杵 尚志 <平成28年4月> 医学博士	臼杵 尚志 <平成28年4月> 医学博士
		臓器別がん治療各論 がん緩和治療		臓器別がん治療各論 がん緩和治療		臓器別がん治療各論 がん緩和治療	
専	教授	柴田 徹 <平成28年4月> 博士(医学)	柴田 徹 <平成28年4月> 博士(医学)	柴田 徹 <平成28年4月> 博士(医学)	柴田 徹 <平成28年4月> 博士(医学)	柴田 徹 <平成28年4月> 博士(医学)	柴田 徹 <平成28年4月> 博士(医学)
		治療概論 放射線治療法 放射線腫瘍学 課題研究		治療概論 放射線治療法 放射線腫瘍学 課題研究		治療概論 放射線治療法 放射線腫瘍学 課題研究	
専	准教授	羽場 礼次 <平成28年4月> 博士(医学)	羽場 礼次 <平成28年4月> 博士(医学)	羽場 礼次 <平成28年4月> 博士(医学)	羽場 礼次 <平成28年4月> 博士(医学)	羽場 礼次 <平成28年4月> 博士(医学)	羽場 礼次 <平成28年4月> 博士(医学)
		病理診断学の臨床応用 検査、診断法概論 臨床検査、病理、放射線診断学 課題研究		病理診断学の臨床応用 検査、診断法概論 臨床検査、病理、放射線診断学 課題研究		病理診断学の臨床応用 検査、診断法概論 臨床検査、病理、放射線診断学 課題研究	

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	横井 英人 <平成28年4月> 博士(医学)
		医科学概論 医療対話学 医療情報学(腫瘍学における情報システム) 課題研究
専	教授	芳地 一 <平成28年4月> 医学博士
		薬学 課題研究
専	准教授	松原 修司 <平成28年5月> 博士(医学)
		高齢者医療学 がん緩和治療

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	横井 英人 <平成28年4月> 博士(医学)
		医科学概論 医療対話学 医療情報学(腫瘍学における情報システム) 課題研究
専	教授	芳地 一 <平成28年4月> 医学博士
		薬学 課題研究
専	准教授	松原 修司 <平成28年5月> 博士(医学)
		高齢者医療学 がん緩和治療

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	横井 英人 <平成28年4月> 博士(医学)
		医科学概論 医療対話学 医療情報学(腫瘍学における情報システム) 課題研究
専	教授	芳地 一 <平成28年4月> 医学博士
		薬学 課題研究
専	准教授	松原 修司 <平成28年5月> 博士(医学)
		高齢者医療学 がん緩和治療

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	横井 英人 <平成28年4月> 博士(医学)
		医科学概論 医療対話学 医療情報学(腫瘍学における情報システム) 課題研究
専	教授	芳地 一 <平成28年4月> 医学博士
		薬学 課題研究
専	准教授	松原 修司 <平成28年5月> 博士(医学)
		高齢者医療学 がん緩和治療

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	横井 英人 <平成28年4月> 博士(医学)
		医科学概論 医療対話学 医療情報学(腫瘍学における情報システム) 課題研究
専	教授	芳地 一 <平成28年4月> 医学博士
		薬学 課題研究
専	准教授	松原 修司 <平成28年5月> 博士(医学)
		がん緩和治療

専	講師	単田 吉生 <平成28年4月> 博士(医学)
		検査、診断法概論 臨床検査、病理、放射線診断学
専	講師	山上 有紀 <平成28年4月> 博士(医学)
		治療合併症、支持療法、緩和治療 がん緩和治療
専	講師	呉 智彦 <平成28年4月> 博士(医学)
		臓器別がん治療各論 呼吸器病学
専	講師	藤原 理樹 <平成28年4月> 博士(医学)
		臓器別がん治療各論
専	講師	野間 貴久 <平成28年4月> 博士(医学)
		脂質異常症と心血管病 食塩感受性高血圧モデルの臨床応用 循環器病学 循環器生理シグナル伝達学

専	講師	単田 吉生 <平成28年4月> 博士(医学)
		検査、診断法概論 臨床検査、病理、放射線診断学
専	講師	山上 有紀 <平成28年4月> 博士(医学)
		治療合併症、支持療法、緩和治療 がん緩和治療
専	講師	呉 智彦 <平成28年4月> 博士(医学)
		臓器別がん治療各論 呼吸器病学
専	講師	藤原 理樹 <平成28年4月> 博士(医学)
		臓器別がん治療各論
専	准教授	野間 貴久 <平成28年4月> 博士(医学)
		脂質異常症と心血管病 食塩感受性高血圧モデルの臨床応用 循環器病学 循環器生理シグナル伝達学

専	講師	単田 吉生 <平成28年4月> 博士(医学)
		検査、診断法概論 臨床検査、病理、放射線診断学
専	講師	山上 有紀 <平成28年4月> 博士(医学)
		治療合併症、支持療法、緩和治療 がん緩和治療
専	講師	呉 智彦 <平成28年4月> 博士(医学)
		臓器別がん治療各論 呼吸器病学
専	准教授	野間 貴久 <平成28年4月> 博士(医学)
		脂質異常症と心血管病 食塩感受性高血圧モデルの臨床応用 循環器病学 循環器生理シグナル伝達学

専	講師	単田 吉生 <平成28年4月> 博士(医学)
		検査、診断法概論 臨床検査、病理、放射線診断学
専	講師	山上 有紀 <平成28年4月> 博士(医学)
		治療合併症、支持療法、緩和治療 がん緩和治療
専	講師	呉 智彦 <平成28年4月> 博士(医学)
		臓器別がん治療各論 呼吸器病学
専	准教授	野間 貴久 <平成28年4月> 博士(医学)
		脂質異常症と心血管病 食塩感受性高血圧モデルの臨床応用 循環器病学 循環器生理シグナル伝達学

専	准教授	下野 隆一 <平成29年4月> 博士(医学)
		小児外科学 臨床栄養・微生物学 課題研究
専	准教授	金西 賢治 <平成29年4月> 博士(医学)
		臓器別がん治療各論
専	講師	加地 良雄 <平成29年4月> 博士(医学)
		がんの心理社会的側面
専	講師	今港 修 <平成29年4月> 博士(医学)
		がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療 治療法概論 治療合併症、支持療法、緩和治療

専	准教授	下野 隆一 <平成29年4月> 博士(医学)
		小児外科学 臨床栄養・微生物学 課題研究
専	准教授	金西 賢治 <平成29年4月> 博士(医学)
		臓器別がん治療各論
専	講師	加地 良雄 <平成29年4月> 博士(医学)
		がんの心理社会的側面
専	講師	今港 修 <平成29年4月> 博士(医学)
		がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療 治療法概論 治療合併症、支持療法、緩和治療

専	准教授	下野 隆一 <平成29年4月> 博士(医学)
		小児外科学 臨床栄養・微生物学 課題研究
専	教授	金西 賢治 <平成29年4月> 博士(医学)
		臓器別がん治療各論 医科学概論 産婦人科医学 課題研究
専	講師	加地 良雄 <平成29年4月> 博士(医学)
		がんの心理社会的側面
専	講師	今港 修 <平成29年4月> 博士(医学)
		がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療 治療法概論 治療合併症、支持療法、緩和治療

専	教授	藤原 祐一郎 <平成30年4月> 博士(医学)
		神経生理学 生体分子センサー特論 医科学特論 医科学概論 課題研究
専	講師	隈元 謙介 <平成30年4月> 博士(医学)
		臓器別がん治療各論

専	教授	藤原 祐一郎 <平成30年4月> 博士(医学)
		神経生理学 生体分子センサー特論 医科学特論 医科学概論 課題研究
専	講師	隈元 謙介 <平成30年4月> 博士(医学)
		臓器別がん治療各論

専	教授	藤原 祐一郎 <平成30年4月> 博士(医学)
		神経生理学 生体分子センサー特論 医科学特論 医科学概論 課題研究
専	講師	隈元 謙介 <平成30年4月> 博士(医学)
		臓器別がん治療各論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鈴木 潔 <平成30年9月> 博士(医学) 神経保護薬の臨床開発 眼病字 課題研究 医科学特論
専	教授	松田 陽子 <平成31年4月> 博士(医学) 毒性病理学 発がん機構 がんのベーシックサイエンス 臨床薬理学 課題研究
専	准教授	上田 修史 <平成31年4月> 博士(医学) 腎・泌尿器病学 前立腺がんの新規マーカーの開発 泌尿器手術術式の開発
専	准教授	白神 千恵子 <平成31年4月> 博士(医学) 神経保護薬の臨床開発 眼病字
専	准教授	倉原 琳 <平成31年4月> 博士(薬学) 呼吸器生理生化学 循環生理シグナル伝達学 細胞シグナル伝達学に基づく トランスレーショナルリサーチ
専	准教授	鈴木 展吾 <平成31年4月> 修士(理学), 博士(理学) 分子神経病理学 医科学特論
専	講師	江上 洋平 <平成30年6月> 修士(理学), 博士(医学) 分子形態学特論 組織細胞科学特論 バイオイメージング技術の開発・応用
専	講師	門田 球一 <平成31年4月> 博士(医学) 検査、診断法概論 臨床検査、病理、放射線診断学
兼担	寄付講座 教員	安藤 延男 <平成28年4月> 博士(医学) がん緩和治療 睡眠(終夜脳波システム)の 臨床開発 認知症診断の技術研究 治療合併症、支持療法、緩和治療 医療対話学

専	講師	安藤 延男 <平成28年4月> 博士(医学) がん緩和治療 睡眠(終夜脳波システム)の 臨床開発 認知症診断の技術研究 治療合併症、支持療法、緩和治療 医療対話学
---	----	---

専	講師	安藤 延男 <平成28年4月> 博士(医学) がん緩和治療 睡眠(終夜脳波システム)の 臨床開発 認知症診断の技術研究 治療合併症、支持療法、緩和治療 医療対話学
---	----	---

専	講師	安藤 延男 <平成28年4月> 博士(医学) がん緩和治療 睡眠(終夜脳波システム)の 臨床開発 認知症診断の技術研究 治療合併症、支持療法、緩和治療 医療対話学
---	----	---

(1) ②担当教員表に関する変更内容

**【平成28年度】**

- 平成28年4月1日 三宅克也准教授未就任(平成28年3月31日)のため、担当科目を横平政直准教授に変更。
- 平成28年4月1日 大森浩二准教授未就任(平成28年3月31日)のため、担当科目を野間貴久准教授に変更。
- 平成28年4月1日 指導体制充実のため、一部の担当科目を、千葉陽一講師から串田吉生講師、山上有紀講師、呉哲彦講師に変更。
- 平成28年4月1日 指導体制充実のため、一部の担当科目を、依田健志講師から安藤延男講師、藤原理朗講師へ担当教員の変更。

**【平成29年度】**

- 平成28年9月30日 田中嘉雄教授辞任のため、担当科目を久富信之准教授、真柴賢准教授、永平智久教授に変更。
- 平成29年2月28日 辻川明孝教授辞任。(後任補充を検討中)
- 平成29年4月1日 五十嵐淳介准教授辞任(平成29年3月31日)のため、担当科目を中北慎一准教授、野間貴久准教授、西望准教授に変更。
- 平成29年4月1日 指導体制充実のため、田中宏和准教授から金西賢治准教授に担当科目を変更。
- 平成29年4月1日 教育課程充実のため、下野隆一准教授追加。(「小児外科学」、「臨床栄養・微生物学」の担当教員として追加)
- 平成29年4月1日 永平智久教授昇任。
- 平成29年5月1日 西屋克己准教授辞任(平成29年3月31日)のため、担当科目を坂東修二准教授に変更。
- 平成29年5月1日 坂東修二講師が准教授に昇任したため、担当科目を呉哲彦講師、今滝修講師、加地良雄講師、安藤延男講師に変更。

**【平成30年度】**

- 平成29年10月1日 学長就任(平成29年9月30日)のため、寛善行教授辞任。一部の担当科目を杉元幹史准教授に変更。
- 平成30年4月1日 西望准教授定年退職(平成30年3月31日)のため、担当科目を井町仁美准教授、中北慎一准教授に変更。
- 平成30年4月1日 教育課程充実のため、藤原祐一郎教授追加。(「生体分子センサー特論」、「神経生理学」の担当教員として追加)
- 平成30年4月1日 徳田雅明教授退職(平成30年3月31日)のため、担当科目を星野克明教授、新井明治准教授、西山成教授、藤原祐一郎教授、山本融教授に変更。
- 平成30年4月1日 依田健志講師辞任(平成30年3月31日)のため、担当科目を宮武伸行准教授に変更。
- 平成30年4月1日 山口文徳准教授辞任(平成30年3月31日)のため、担当科目を新井明治准教授、西山成教授、山本融教授に変更。
- 平成30年4月1日 藤原理朗講師辞任(平成30年3月31日)のため、担当科目を隈元謙介講師に変更。

**【令和元年度】**

- 平成30年6月1日 授業内容充実のため、江上洋平講師を追加。(「分子形態学特論」、「組織細胞科学特論」、「バイオイメージング技術の開発・応用」の担当教員として追加。)
- 平成30年6月1日 安藤延男寄付講座教員採用(兼担)。(平成30年5月31日同講師辞任)
- 平成30年7月1日 杉元幹史教授昇任。
- 平成30年9月1日 鈴間潔教授採用。(医科学特論、神経保護薬の臨床開発、眼病学、課題研究を担当)
- 平成30年10月31日 廣岡一行准教授辞任。平成31年4月に専任教員を採用予定。
- 平成31年4月1日 今井田克己教授定年退職(平成31年3月31日)のため、担当科目を松田陽子教授(平成31年4月1日採用)に変更。
- 平成31年4月1日 泰利之教授定年退職(平成31年3月31日)のため、担当科目を金西賢治教授(平成31年4月1日昇任)に変更。
- 平成31年4月1日 串田吉生講師辞任(平成31年3月31日)のため、担当科目を門田球一講師に変更。
- 平成31年4月1日 指導体制充実のため、松原修司准教授から星川広史教授に担当科目を変更。
- 平成31年4月1日 鈴木辰吾准教授昇任のため専任教員として追加。(「分子神経病理学」、「医科学特論」の担当教員として追加)
- 平成31年4月1日 倉原琳准教授昇任のため専任教員として追加。(「呼吸循環生理学」、「循環生理シグナル伝達学」、「細胞シグナル伝達学に基づくトランスレーショナルリサーチ」の担当教員として追加)
- 平成31年4月1日 廣岡一行辞任(平成30年10月31日)のため、白神千恵子准教授を専任教員として追加。(「神経保護薬の臨床開発」、「眼病学」の担当教員として追加)
- 平成31年4月1日 授業内容充実のため、上田修史准教授を専任教員として追加。(「腎・泌尿器病学」、「前立腺がんの新規マーカーの開発」、「低侵襲手術式の開発」の担当教員として追加)
- ※令和2年3月31日 芳地一教授定年退職予定のため、令和2年4月に専任教員を採用予定。
- ※令和2年3月31日 窪田泰夫教授定年退職予定のため、令和2年4月に専任教員を採用予定。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
  - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
30	20	30
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
44	35	3	0	82	44	33	8	0	85
(44)	(33)	(9)	(0)	(86)					
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
54	28	0			54	31	0		
(54)	(32)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
44	33	8	0	85	44	33	8	0	85
[0]	[△2]	[5]	[0]	[+3]	[0]	[△2]	[5]	[0]	[3]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
54	31	0			54	31	0		
[ 0 ]	[ 3 ]	[ 0 ]			[ 0 ]	[ 3 ]	[ 0 ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{85}{82} = \boxed{103.65} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{85} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	三宅 克也	H28.3	選択	分子形態学特論	①	他大学への異動のため (28)						
				選択	組織細胞科学特論	①							
				選択	バイオイメージング技術の開発・応用	①							
2	准教授	大森 浩二	H28.3	選択	脂質異常症と心血管病	①	他病院への異動のため (28)						
				選択	食塩感受性高血圧モデルの臨床応用	①							
				選択	循環器病学	①							
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)									
就任を辞退した教員数				担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	6	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	田中 嘉雄	H28.9	選択	形成外科におけるバイオイメージング	①	平成28年9月30日付け他病院へ異動のため辞任 (29)
				選択	医工融合による医療機器開発	①	
				選択	形態機能学	①	
				必修	課題研究	①	
2	教授	辻川 明孝	H29.2	必修	医科学特論	①	平成29年2月28日付け他大学へ異動のため辞任 (29)
				選択	神経保護薬の臨床開発	①	
				選択	眼病学	①	
3	准教授	五十嵐淳介	H29.3	必修	課題研究	①	平成29年3月31日付け他大学へ異動のため辞任 (29)
				選択	医科学特論	①	
				選択	循環生理シグナル伝達学	①	
4	准教授	西屋 克己	H29.3	選択	細胞シグナル伝達学に基づくトランスレショナルリサーチ	①	平成29年3月31日付け他大学へ異動のため辞任 (29)
				必修	医学教育学特論	①	
5	教授	箕 善行	H29.9	必修	医学概論	①	平成29年9月30日付け学長就任のため辞任 (30)
				選択	前立腺がんの新規マーカーの開発	①	
				選択	低侵襲手術術式の開発	①	
				必修	課題研究	①	

6	准教授	山口 文徳	H30.3	必修	医科学特論	①	平成30年3月31日付け他大学へ異動のため辞任 (30)		
				必修	希少糖科学特論	①			
				選択	希少糖の機能	①			
				選択	神経生理学	①			
				選択	希少糖と生活習慣病	①			
7	講師	依田 健志	H30.3	選択	臨床疫学	①	平成30年3月31日付け他大学へ異動のため辞任 (30)		
				選択	生物統計学	①			
				選択	医療管理学	①			
				選択	健康危機管理論	①			
				選択	国際保健論	①			
				選択	医療経済・テクノロジーアセスメント	①			
				選択	医療政策論	①			
選択	医療情報学	①							
8	講師	藤原 理郎	H30.3	選択	臓器別がん治療各論	①	平成30年3月31日付け他病院へ異動のため辞任 (30)		
9	講師	安藤 延男	H30.5	選択	がん緩和治療	②	平成30年5月31日付け辞任、同6月1日寄附講座教員として採用(元)		
				選択	睡眠(終夜脳波システム)の臨床開発	②			
				選択	認知症診断の技術研究	②			
				選択	治療合併症、支持療法、緩和治療	②			
				選択	医療対話学	②			
10	准教授	廣岡 一行	H30.10	必修	医科学特論	①	平成30年10月31日付け他大学へ異動のため辞任(元)		
				選択	神経保護薬の臨床開発	①			
				選択	眼病学	①			
11	講師	串田 吉生	H31.3	選択	検査、診断法概論	①	平成31年3月31日付け他病院へ異動のため辞任(元)		
				選択	臨床検査、病理、放射線診断学	①			
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
11	人	必修	9 科目	必修	9 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	31 科目	選択	26 科目	選択	5 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	40 科目	計	35 科目	計	5 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
13	人	必修	9 科目	必修	9 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	37 科目	選択	32 科目	選択	5 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	46 科目	計	41 科目	計	5 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{13}{82} = \boxed{15.85} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	教授	徳田 雅明	必修	医科学概論	①	平成30年3月31日付け65歳で定年退職 (30)							
			必修	医科学特論	①								
			必修	希少糖科学特論	①								
			選択	希少糖の機能	①								
			選択	神経生理学	①								
			選択	希少糖と生活習慣病	①								
			必修	課題研究	①								
2	准教授	西 望	必修	医科学概論	①	平成30年3月31日付け65歳で定年退職 (30)							
			必修	医科学特論	①								
			選択	分子内分科学	①								
			選択	糖鎖情報と臨床応用	①								
			選択	細胞シグナル伝達学に基づくトランスレーショナルリサーチ	①								
			必修	課題研究	①								
3	教授	今井田 克己	選択	毒性病理学	①	平成31年3月31日付け65歳で定年退職 (元)							
			選択	発がん機構	①								
			選択	がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学	①								
			必修	課題研究	①								
4	教授	秦 利之	必修	医科学概論	①	平成31年3月31日付け65歳で定年退職 (元)							
			選択	母子周産期医学	①								
			必修	課題研究	①								
合計				後任補充状況の集計									
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)					
4	人	必修	10	科目	必修	10	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	10	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	20	科目	計	20	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員が辞任した場合であっても、研究科組織として、更には各講座としての教育・研究指導体制は維持、継続させており、学生の履修、研究等への影響は低減させている。  
 学生にはシラバス等にて周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<大学院医学系研究科 医学専攻(博士課程)>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>○ 履修方法</p> <p>専門科目は16単位以上のうち、主科目から8単位(主指導教員の開講する科目を1科目以上含む)、副科目(主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えて履修可)から4単位、主科目・副科目に関わらず全ての開講科目から4単位以上を履修する。</p> <p>○ 科目分類の変更</p> <p>【放射線治療法】 がんプロフェッショナル養成科目群    がん専門共通科目</p>	<p>○ 履修方法</p> <p>がんプロフェッショナル養成コース選択者は、主科目において共通コアカリキュラム(4単位)とがん専門共通科目(4単位)の履修が必修であるため、主科目から履修科目(8単位)を選択する際に主指導教員の開講する科目を1科目以上含むことが困難なため、除外する。</p> <p>専門科目は16単位以上のうち、主科目から8単位(主指導教員の開講する科目を1科目以上含む。但し、がんプロフェッショナル養成コースは除く。)、副科目(主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えて履修可)から4単位、主科目・副科目に関わらず全ての開講科目から4単位以上を履修する。</p> <p>○ 科目分類の変更</p> <p>コンソーシアムと調整を行って科目分類を変更する。</p> <p>【放射線治療法】 がんプロフェッショナル養成科目群    がん専門選択科目</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>医学部教育センター FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>開催回数: 年1回</p> <p>平成31年2月4日開催 委員出席数12名/(12名)</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>議題1 2019年度FD委員会委員について</p> <p>議題2 平成30年度FDおよび授業公開実施報告について</p> <p>議題3 2019年度FD実施計画(年間スケジュール)について</p> <p>議題4 新任教員研修プログラムについて</p> <p>議題5 その他</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>【平成31年度予定FD】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CBTに関するFD</li> <li>・チュートリアル・PBLチュートリアルFD</li> <li>・授業公開『悪性腫瘍(生殖系ユニット)』(周産期学婦人科学)</li> <li>・授業公開『前立腺癌(腎・泌尿器ユニット)』(泌尿器科学)</li> <li>・授業公開『未定(医学科講義)』</li> </ul>
--

- ・授業公開『未定（看護学科講義）』
- ・授業公開『PBLチュートリアル発表会（臨床心理学科講義）』
- ・医学部倫理委員会 教育訓練講習会（平成31年度 第1回～第6回）
- ・医学部教育センターFD
- ・看護学科入試に関するFD
- ・障害学生に関するFD
- ・DRI教育に関するFD
- ・海外留学報告会（年間2回実施予定）

b 実施方法

c 開催状況（教員の参加状況含む）

【平成30年度開催状況】

- ・CBTに関するFD 3月23日 50人
- ・医学部倫理委員会 教育訓練講習会（平成30年度第1回） 4月24日 280人
- ・チュートリアル・PBLチュートリアルFD 5月9日 58人
- ・医学部研究戦略セミナー 5月11日 74人
- ・授業公開『チュートリアル発表会』 7月4日 18人
- ・授業公開『生理学Ⅰ』 7月12日 24人
- ・看護学科入試に関するFD 8月9日 21人
- ・障害のある学生に対する支援に関するFD・SD 9月27日 63人
- ・授業公開『生理学Ⅱ』 10月2日 15人
- ・国家試験対策及び試験問の作成に関するFD 10月15日 83人
- ・医学部倫理委員会 教育訓練講習会（平成30年度第4回） 10月19日 147人
- ・『ハラル食』ってなんだろう？ 11月15日 5人
- ・医学部倫理委員会 教育訓練講習会（平成30年度第5回） 11月27日 83人
- ・授業公開『医療管理学・診断学』 12月3日 11人
- ・授業公開『母性看護学概論』 12月4日 11人
- ・医学部倫理委員会 教育訓練講習会（平成30年度第6回） 1月28日 239人
- ・医学部倫理委員会 教育訓練講習会（平成30年度第7回） 3月18日 212人

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

医学部において、教員の資質向上のため、毎年、年間を通じて多様な分野・領域からの講習会を開催している。いづれの講習会も授業担当教員としての責務の再確認に有益だけでなく、医学教育の基盤を拡充させる新たな取り組みを啓発する内容である。特に医学・生命倫理に関する講習会では、平成30年度全5回で約1000人（病院職員含む）の参加があり、当該分野への意識の高さが伺えると同時に医学部教育の質の向上に寄与していると考えられる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各科目の終了毎に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート集計結果は教職員HPで公表しフィードバックしている。学生にも紙媒体で公表している。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成28年度に、従来の3専攻16部門を1専攻2コースにするなどの改組を行った。改組計画では、大学院修了後の進路の多様性に対応するため、基礎研究者、橋渡し研究者、高度ながん診療エキスパートの養成等、修了後の進路を見据えたコースを設定し、学生に提示した。

平成29年以降、がんプロフェッショナル養成科目群を、コンソーシアムにおける議論等を踏まえ、変更等を行ったが、専門医養成のうえで必要な変更であった。また、開設時には准教授2名の未就任等、教員組織の整備に一部滞りが見られた。しかし、講師、准教授の追加・後任補充計画の立案等により、教員組織及び教育課程の維持・推進には支障を来さぬようにした。定員については、今年度入学者数41名を数えるに至った。

以上のことから、当初計画及び目的は概ね達成されつつあると考える。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和3年度に自己点検評価（大学全体）を実施・公表（予定）

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和元年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和4年度に機関別認証評価を受けるべく、学内で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （  有 ・  無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 8月 1日 ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。